

## 旧日本帝国における傍系ナショナルアイデンティティ 比較研究のための基礎調査 —沖縄地域紙における台湾関連報道を中心に

八尾 祥平

### 序

ナショナルアイデンティティをめぐる研究は、これまで「マジョリティとマイノリティ」という構図から研究されることが主流であった。これに対して本プロジェクトでは既存研究とは異なる関係性に着目することでナショナルアイデンティティをめぐる議論に新たな展開をもたらすことを模索するために行われた。

本プロジェクトにおいて、八尾は旧日本帝国におけるマイノリティとして沖縄人と台湾人に着目した。両者は日本本土の日本人に対してマイノリティに位置づけられてきた人々である。ただし、マイノリティ同士である沖縄人と台湾人との関係への着目は1990年代以降にようやく研究が進展した。台湾と沖縄を結びつけた研究は、近年、沖縄研究・台湾研究の双方で徐々に研究が蓄積されつつある状況にある。

沖縄と台湾間の関係について着目した研究を下記の4点から概観する。

第一に、植民地期の台湾における沖縄の関わりに着目した研究〔又吉1990〕がある。現在も「琉球処分」という用語で表記される出来事は、実質的には、日本帝国による琉球併合に他ならない。これまで日本の帝国主義の被害者として描かれることが多かった沖縄人が、同じく日本帝国の植民地・台湾では加害者としてその植民地経営のなかに組み込まれていった過程を又吉は実証的に分析し、沖縄と台湾の複雑なマイノリティ間関係を明らかにした。

第二に、戦中から終戦直後の混乱期にかけての台湾と沖縄についての研究〔石原2000；何2008；黄1995；泉水2010；富永2019；松田2010；三木1990〕がある。たとえば、石原および黄は、終戦直後の与那国島と台湾間で盛んに行われていた密貿易について沖縄・台湾の双方から多くの証言を記している。また、台湾の民主化後に多くの公文書が公開された。また、何は、これらの

公文書の分析し、かつての国府は沖縄出身者を、本土出身の日本人（日僑とよばれていた）とは区別し、琉僑として処遇していたこと、さらには、蒋介石は琉球の中国復帰にむけて、沖縄独立論者である喜友名嗣正を極秘裏に支援し、琉球の日本復帰を阻止しようとしていたことなどを明らかにした。さらに、戦前から石垣島で暮らす台湾人についての歴史を、当事者たちの証言を記録した松田と三木の研究は、沖縄人と台湾人というマイノリティ関係を、沖縄の島嶼社会としての多様性と結び付けて示した重要な研究である。

この第二グループの研究のなかで本プロジェクトとも深く関わるものとして八尾が注目しているのは泉水と富永による研究である。泉水は、旧日本帝国のマイノリティである沖縄人と台湾人の双方と深く関わったアメリカ人、G・H・カーによる沖縄・台湾への理解の一端を明らかにした。沖縄研究・台湾研究の双方でもカーについての既存研究はあるものの、それぞれが沖縄・台湾という地域での関わりにのみ限定されてきた。これに対して、泉水の研究はカーを総体的に描くことで、カーが沖縄人と台湾人をそれぞれの「本土」から沖縄・台湾という「フロンティア」へ渡った人々として、ヨーロッパからアメリカという「フロンティア」へ渡ったアメリカ人と似通った人々として理解していたことが明らかになった。また、富永は戦前から戦後の台湾で朝鮮人と結婚した沖縄人女性の生活史を描いた。富永は、台湾や台湾人を、アメリカ・日本・中国といった大国のはざまに位置づける既存研究とは一線を画し、こうした国家を中心とした視座とは異なる、地域のなかでエスニシティを越えて人々との間でつむぎだされる〈あいだ〉の空間を示した。泉水や富永の研究は、これまで旧日本帝国の枠組みで「周縁」や「マイノリティ」として理解されてきたような地域や人々の営みとは異なる理解の可能性があることを示唆している。

第三に、戦後の沖華関係について、特にその政治的な側面に注目した研究が挙げられる。まず、中華民国にとっての沖縄返還問題を国際法の観点から分析した研究〔丘1970；楊2011、2014、2016；李2005〕がある。李と丘は共に国際法の観点から「琉球」帰属問題を論じているのだが、カイロ会議からサンフランシスコ講和会議や日華平和条約の締結までの間に国府側が「琉球」の処遇について強く主張を行わなかったがためにアメリカによる「琉球」の

日本への復帰が決まってしまったことについて、1970年代に書かれた丘は完全な外交上の失政の事例として評価する。その一方で、李は国府側が国際法上なら有効な手立てを講じなかったため「琉球」の日本復帰を反対することには無理があると対照的な議論を展開した。丘と李の議論の差異は、各々の論文が書かれた時代背景や論者の政治的な立場を反映していると考えられ、非常に興味深い。また、第二次大戦後から沖縄返還までの時期の沖縄と台湾を国際関係史の枠組みで論じた研究〔赤嶺2010；石井2010〕もある。赤嶺は、戦後の沖縄をめぐる国際社会の動向について論じながら、台湾と沖縄との間には正式な国交が樹立できないため、国府の外交部が直接的に交渉を行うことはできなかったものの、台湾と沖縄間の関係を強化するために台湾と沖縄の双方で設立された組織である中琉文化経済協会などの諸団体の活動についても分析し、国府と沖縄の政財界の一部とが結びつきを深めていく一端を解明した。赤嶺の研究は、管見のかぎりではあるものの、戦後の沖華関係についての研究で最も優れた成果であると高く評価できる。

第四に、人の移動に着目した研究が挙げられる。まず、戦前の台湾から石垣島へ「日本人」として移住し、戦後は中華民国籍となったものの沖縄へ定住し続けた者についての研究〔小熊1989；野入2008；松田2004；水田2010；若林2009〕がある。その一方で、戦前の沖縄から台湾へ渡った者についての研究〔金戸2007；星名2003；松田2008；水田1998〕がある。

これらの戦前の沖縄・台湾間の人の移動に着目した研究全体から示唆されるのは、日本帝国の内部で周縁地域間の関係は決して均質的なものではなく、むしろ、従来の「中心－周縁」についての議論では捉えられなかった、「周縁」にはその地域に独自のあり方があり、それらが結び合わさることで多種多様でより複雑な社会関係が生み出されていたという点である。また、これらの研究は、日本の近代化を、植民地で暮らす市井の民衆の視点から捉え直す点とする点でも共通点がみられる。

以上の通り、旧日本帝国におけるマイノリティ間関係についての研究は、沖縄・台湾関係に限っても、急速に蓄積が進みつつあるといえる。ただし、「戦後」における沖縄・台湾関係については、基礎的な史料の整理がほぼ手つかずとなっている点がいくつかある。そのひとつとして、沖縄の地元紙におけ

る台湾関係の記事の全体像がみえないまとなっているという点である。現在、沖縄と台湾でも新聞社のデータベースはあるものの、沖縄については1997年以降の記事だけが検索できるだけで、それ以前の記事については研究者が各々の関心に基づいて記事を収集するだけにとどまっている。

台湾では、『台湾新聞知識庫』などの各種のデータベースから戦前からの記事検索が行えるようになっていた。八尾によるこれまでの調査の結果として、台湾における沖縄関係報道の記事の推移は下記のようにまとめられる。これは『台湾新聞知識庫』を用いて、『聯合報』や『中国時報』における「琉球」あるいは「沖縄」での記事の検索数を年代ごとにまとめたものである。なお、「琉球」の検索結果からは台湾の一地域である「小琉球」の記事は除いてある。この表からわかることは、全体として、台湾では沖縄を「琉球」と表記し、沖縄とはあまり表記しないこと、1970年代はそれ以前の時期と比べると記事の数が少なくなることがわかる。前者については、中国国民党が沖縄は日本の一部ではないということを示すために、公の場では「琉球」という語を用い、「沖縄」の語を用いなかったことの影響が考えられる。また、後者については、詳細な記事数の推移をみると、1972年の沖縄施政権返還や日華断交後に沖縄関連の記事がしばらくほぼなくなっていた。このことは台湾における沖縄関連の報道は、1970年前後の時期の国際社会での台湾の中華民国をめぐる地位の変動とも強く結びついていることを示唆している。

表 台湾新聞データベースでの「琉球」および「沖縄」の記事検索数の推移

	聯合報			中国時報		
	合計			合計		
		琉球	沖縄		琉球	沖縄
1950年代	464	332	132	329	303	26
1960年代	627	574	53	417	401	16
1970年代	304	284	20	232	219	13
1950-1970年代	1395	1190	205	978	923	55

出典：『台湾新聞知識庫』より筆者自身が集計を行った

日本帝国崩壊後、台湾と沖縄との間には国境線が引かれ、戦前とは異なる関係を結ばなくてはいけなくなった。既存研究でもこの新しい関係について、

公文書や新聞を用いて実証的な研究が進められてはいる。しかし、沖縄側での1997年以前の台湾関連の報道の全体像が見えてこない状況では、戦後の沖縄・台湾関係についての研究を一貫した視座から意義づけ、位置づけることができず、個別研究となってしまう。また、こうした記事の全体像を明らかにすることで、既存研究からは漏れていた重要な研究テーマの発見や、既存研究に対する見直しをせまるきっかけになる可能性もある。何よりも、本プロジェクトにおける傍系ナショナリズムに関連する議論の軸をつくるための基礎的な作業としても重要な課題である。

以上の問題意識から、八尾は1950年から1972年までの、沖縄の地域紙における台湾関連の記事の収集を行い、リスト化を行った。ただし、今回は新型コロナウイルスによるロックダウンにより公共図書館が閉館となるといった予想外の影響もあり、記事リストは抄録にとどまっている。今後、記事リストを拡充し、完成を目指したい。

## 1. 調査方法の概要

本プロジェクトにおける調査方法の概要を以下の通り記す。

収集できた記事リストには、本文末の『沖縄の地域紙における台湾関連報道記事リスト（1950-1972年・抄録）』を参照されたい。

### (1) 記事の収集対象とした地域紙

本プロジェクトでは、『沖縄タイムス』、『琉球新報』、そして、『八重山毎日新聞』から記事の収集を行った。沖縄の地域紙は他にもあるのだが、今回は時間的な制約もあるため、沖縄島における主要二紙と、戦前から多くの台湾人が生活する石垣島の一紙を選択した。なお、宮古島については台湾人が戦前からあまり多く暮らしていないため、今回の調査対象からは外した。まずはこれらの三紙のリストを完成させたうえで、他の地域紙の記事収集を行う予定である。

### (2) 記事を収集した期間

本プロジェクトでは、石垣島でも新聞が刊行できるようになった1950年から、沖縄施政権返還および日華断交のあった1972年までの時期に限定して記事の収集を行った。記事の収集は新聞社ごとに1950年から順にはなく、既存研

究から沖縄・台湾関係における重要な出来事があった時期の前後を優先して記事の収集を行った。

① 沖縄タイムス（創刊：1948年7月1日）

1950年、1951年3～6月、1951年3～6月、1952年6月11～22日、1954年6月、1956年6月12～23日、同年10月20～30日、1957年4月1～10日、同年6月、同年10月、1958年3月、同年9～11月、同年12月1～16日、1959年4～8月、1960年1月1日～9月19日、1961年7月1～8日、1963年11月23～30日、1964年1月17～27日、同年7月1～15日、同年8月13日および20～25日、同年9月、1966年7月、1972年4月。

② 琉球新報（創刊：1945年7月26日。1951年9月9日までは前紙名『うるま新報』と表記）

1951年12月、1951年1～9月、1952年6月11～22日、1954年6月、同年10月、1956年6・8月、1958年11月29・30日、1958年12月1～16日、1964年1月、1966年6月20～30日、1967年9月15日、1972年9月25～30日、同年10月

③ 八重山毎日新聞（創刊：1950年3月15日。1952年1月14日までは旧紙名『南琉日日新聞』と表記）

1950年3月15日～12月31日、1952年6月11～22日、1962年、1963年11月23・24日、同年12月。

**(3) 記事の収集・記録方法**

沖縄県立図書館において各紙から八尾自身が記事を収集し、日付・新聞名・記事の見出しをノートパソコンに記録した。なお、原データには、必要に応じて、一部の記事に掲載面やメモなども附した。

**結**

まだ、記事リスト全体が完成していないため、全体を概観した上での結論とはならないものの、調査を通して気づいたことをいくつか記しておきたい。

第一に、東アジアにおける冷戦体制の確立が沖縄と台湾の両地に大きな影響が及んでいることが報じられていたことを挙げたい。たとえば、1950年の朝鮮戦争について連日詳細に報じられていた。その内容も、朝鮮半島情勢だ

けでなく、朝鮮戦争による台湾情勢への影響も、沖縄島の主要紙だけでなく、石垣島の地域紙でも報じられていた。これらの報道は、沖縄が日本の再独立後も米軍施政権下におかれたことで、国際社会の動静に対して高い関心を払わざるを得なかったことは、日本の一地方という位置づけにとどまらない、独立した主体性を持つ要因となったことをあらためて印象づけた。

第二に、台湾での「琉球」についての報道との差がある点を挙げたい。先述したとおり、台湾の中国国民党政権は「琉球」を日本からは独立した地域として位置づけていた（以下、中国国民党を国民党と記す）。この政権の方針にそった記事が台湾で書かれている一方で、沖縄側ではこうした台湾の国民党政権の姿勢とは距離をおいた記事が散見された。たとえば、中国国民党のエージェントとして戦後の台湾と沖縄関係を構築してきた喜友名嗣正の琉球独立運動を、沖縄では「台湾の琉球独立運動」として冷たく報じられることがあった。また、台湾へ政界・財界やマスコミ関係者が招かれた際にも、台湾の中華民国政府の要人が琉球独立について熱弁をふるった時に、沖縄の新聞記者が沖縄人の多くが日本の復帰を望んでいるという当時の沖縄社会の実態を告げ、場の空気が一瞬、冷え込んだことなどが報じられてもいた。

こうした報道の差は、台湾防衛のために沖縄の米軍基地を必要とした国民党政権と、米軍基地の撤退のために沖縄の日本復帰を求めた沖縄との根本的な違いに起因するものとみることができる。冷戦期の台湾と沖縄は共に自由主義陣営ではあるものの、決して一枚岩ではなく、かみ合わない立場がすれ違う状態のまま、喜友名が仲介役として結びついていたのではないかと考えられる。

第三に、報じられていない重要な出来事が存在する。1960年代の台湾・沖縄関係で重要な出来事のひとつである、台湾からのパイン女工の受入は『八重山毎日新聞』でのみ報じられ、沖縄の主要紙では報じられていない。この背景には、受入当日がケネディ暗殺と重なってしまったことがある。これだけでなく、日本の敗戦直後の時期に沖縄から台湾へ漁民が再渡航していたのだが、こうした移動についても沖縄側からの新聞記事から追うことは難しくなっていた。本プロジェクトでは、傍系ナショナリズムを通して、国家とは異なる視座からナショナルアイデンティティについて考察することが目的で



ある。報じられていない出来事について考察することで、国家の戦略とは相対的に距離をおいて、移動を生きる人々の主体性を考察することにつながるのではないだろうか。

台湾と沖縄の傍系ナショナリズムを比較研究することは、単純に日本のナショナリズムの相対化をするのではなく、冷戦期の東アジア・東南アジアの歴史を批判的に再検証することにもつながっている。今回着手した記事リストを今後完成させることで、こうした比較研究に本格的に着手するための基礎を整備したい。

## 参考文献一覧

### 日本語文献

赤嶺守（2010）「戦後中華民国における対琉球政策——1945年～1972年の琉球帰属問題を中心に」『東亞海域與臺灣—慶祝曹永和院士九十壽誕國際學術研討會暨「回眸曹永和」特展』1-19頁。

石井明（2010）「中国の琉球・沖縄政策——琉球・沖縄の帰属問題を中心に」『境界研究』1：71-96頁。

石原昌家（1986）『郷友会社会——都市のなかのムラ』ひるぎ社。

小熊誠（1989）「石垣島における台湾系移民の定着過程と民族的帰属意識の変化」『第二回琉中歴史関係国際学術会議報告 琉中歴史関係論文集』琉中歴史関係国際学術会議実行委員会 569-602頁。

金戸幸子（2007）「1930年前後の八重山女性の植民地台湾への移動を促したブル要因——台湾における植民地的近代と女性の職業拡大をめぐる」『移民研究』3：1-26頁。

黄智慧（1995）「台湾にもっとも近い日本、与那国島」（胎中千鶴訳）笠原政治・植野弘子編『台湾』河出書房新社287-295頁。

泉水英計（2010）「極東の『フロンティア』——米国人歴史家が語る冷戦期の琉球と台湾」『歴史と民俗』26：15-51頁。

富永悠介（2019）『〈あいだ〉に生きる—ある沖縄女性をめぐる経験の歴史学』大阪大学出版会。



- 野入直美（2008）「生活史から見る沖縄・台湾間の双方向的移動」蘭信三（編）『日本帝国をめぐる人口移動の国際社会学』不二出版 559-592 頁。
- 星名宏修（2003）「『植民地は天国だった』のかー沖縄人の台湾体験」西成彦・原毅彦編『複数の沖縄ーディアスポラから希望へ』人文書院 169-196 頁。
- 又吉盛清（1990）『植民地下の台湾と沖縄』沖縄あき書房。
- 松田ヒロ子（2008）「沖縄県八重山地方から植民地下台湾への人の移動」蘭信三編『日本帝国をめぐる人口移動の国際社会学』不二出版 529-558 頁。
- 松田良孝（2004）『八重山の台湾人』南山社。
- 三木健（1990）『西炭炭鉱夫物語』ひるぎ社。
- 水田憲志（1998）「沖縄県から台湾への移——第二次世界大戦前における八重山郡出身者を中心として」関西大学文学部地理学教室編『地理学の諸相——実証の地平』大明堂。
- （2010）「1930年代の石垣島における台湾人農業移民の入植過程」野間晴雄（編）『文化システムの磁場』関西大学出版部 229-251 頁。
- 若林敬子（2009）「国際的視点からみた沖縄人口」『沖縄の人口問題と社会的現実』東信堂 92-96 頁。

#### 中国語文献

- 丘宏達（1970）〈琉球問題研究〉《政大法學評論》台北：國立政治大學法律學系 2：1-12 頁。
- 何義麟（2008）〈戦後在臺琉球人之居留與認同〉《國史館學術集刊》18：129-164 頁。
- 李明峻（2005）〈從國際法角度看琉球群島主權歸屬〉《台灣國際研究季刊》1 卷第 2 期夏期號：51-81 頁。

## 沖縄の地域紙における台湾関連報道記事リスト (1950-1972年・抄録)

### 【1950年代】

- 19500101 沖縄タイムス 國府・印度 外交斷絶す
- 19500101 沖縄タイムス 中共軍 海南島の偵察上陸失敗
- 19500101 沖縄タイムス 與那国島 目の前に“騒ぐ”臺灣”
- 19500104 沖縄タイムス 國府 米援助確實と樂觀
- 19500104 沖縄タイムス 中共承認國援助せず 米・ノー議員が強調
- 19500104 沖縄タイムス 英國 中共承認 方針變らず
- 19500105 沖縄タイムス 中國援助は六週間後に
- 19500106 沖縄タイムス 中共承認 “めぐり” 複雑な臺灣問題 窮地に立つ英國
- 19500106 沖縄タイムス マ元帥 臺灣干涉主張
- 19500107 沖縄タイムス 臺灣武力不干渉 ト大統領 五日聲明 武力攻撃受けた  
場合“問題は別である” ア長官聲明
- 19500107 沖縄タイムス 臺灣防衛 西陣地強化 元日本將校 將と作戦を協議
- 19500107 沖縄タイムス 英・國民政府國交斷絶
- 19500107 沖縄タイムス 英國 中共承認を通告
- 19500107 沖縄タイムス 米國 中共承認時期尚早
- 19500107 沖縄タイムス 在臺米人に引揚げ勧告
- 19500110 沖縄タイムス 中共 國府代表除名要求
- 19500110 沖縄タイムス 比島 結局は中共承認
- 19500110 沖縄タイムス 國府・軍部内閣に改変か
- 19500110 沖縄タイムス ノルウェー中共を承認
- 19500111 沖縄タイムス 米英關係の前途 中共承認めぐり多難豫想
- 19500111 沖縄タイムス 中共承認
- 19500112 沖縄タイムス 國連中共の申入受理
- 19500112 沖縄タイムス 臺灣 淡水英領事館に暴行
- 19500113 沖縄タイムス 中共軍 海南島に上陸
- 19500113 沖縄タイムス 國府空軍また英船攻撃

- 19500115 沖縄タイムス 國府代表除名問題 安保理事會で否決
- 19500117 沖縄タイムス 中共 北京米總領事館を占據
- 19500117 沖縄タイムス 米人引揚げ勸告
- 19500117 沖縄タイムス 米領事館閉鎖
- 19500117 沖縄タイムス 米の在華權益は英が保護
- 19500117 沖縄タイムス 中共へ抗議 湧立つ 米政界
- 19500118 沖縄タイムス ジェ大使・將會見 臺灣援助を切望
- 19500119 沖縄タイムス 臺灣問題で米議會對立
- 19500119 沖縄タイムス 國府代表の議長辭任を否決
- 19500121 沖縄タイムス 中共 國府首席代表任命
- 19500121 沖縄タイムス 與那國島 影をたつ密貿船 臺灣の騒ぎ ひたひた（略字）よせる
- 19500122 沖縄タイムス 中共軍 印度支那に越境
- 19500128 沖縄タイムス 臺灣政策 國務省案を國防省支持
- 19500128 沖縄タイムス 中共 臺灣海南島同時攻撃か 兵力百餘万を準備
- 19500128 沖縄タイムス 上海空襲 國府空軍が 死傷四百餘
- 19500211 沖縄タイムス 臺灣不介入方針 米政府、重ねて強調
- 19500211 沖縄タイムス 中國全海岸封鎖を擴大
- 19500221 沖縄タイムス 臺灣券交換 マ部に照會中
- 19500222 沖縄タイムス 中共地區で農民十萬反亂
- 19500222 沖縄タイムス 香港條約 改定要求か
- 19500228 沖縄タイムス 空爆激化 廣東鐵道 夜間運行
- 19500301 沖縄タイムス 將總統の復歸決定
- 19500301 沖縄タイムス 國府空軍 青島爆撃
- 19500302 沖縄タイムス 責任を感じず 將總統復歸の辭
- 19500302 沖縄タイムス 將總統復歸 李氏が横槍
- 19500303 沖縄タイムス 大陸に逆上陸 將總統の再建計畫
- 19500303 沖縄タイムス 中共地區の米官吏引揚
- 19500303 沖縄タイムス 將總統を米承認か
- 19500305 沖縄タイムス 臺灣攻撃迫る

- 19500305 沖縄タイムス 廣東空襲 七百名死傷
- 19500307 沖縄タイムス 國府軍の本土侵攻 案外早く實現か
- 19500309 沖縄タイムス 米、臺灣を援助か ア長官重大示唆
- 19500309 沖縄タイムス 中共軍海南島上陸
- 19500315 沖縄タイムス 中共軍又も海南島上陸
- 19500316 南琉日日新聞 中共軍またも海なん島に上陸作戰
- 19500322 沖縄タイムス 臺灣米や朝鮮米輸入
- 19500323 沖縄タイムス 日本實業家 台灣入り許可
- 19500323 南琉日日新聞 [広告] 王陳米粉工場
- 19500324 沖縄タイムス 臺灣北部海上に氣の早い低氣壓 本島通過は明晩か
- 19500324 沖縄タイムス ライカム内百貨店 將來民に渡す
- 19500324 南琉日日新聞 台日貿易 近く開始さる
- 19500324 南琉日日新聞 松門上陸作戰修了
- 19500325 南琉日日新聞 インフレに悩む中共治下の經濟界
- 19500329 南琉日日新聞 國府代表の追放 ソ連またも要求せん
- 19500404 南琉日日新聞 河南中共軍に三万五千人の日本兵
- 19500405 南琉日日新聞 ソ連製機 國府軍を撃墜
- 19500405 南琉日日新聞 中共軍中にソ.日.鮮籍人多數
- 19500407 沖縄タイムス 中共機臺灣附近に現る
- 19500409 沖縄タイムス 中共の臺灣戰略 ソ連が軍事援助
- 19500411 沖縄タイムス 中共臺灣進攻五月か
- 19500414 沖縄タイムス 海南島上陸作戰準備完了 日本人部隊 先陣受持つ
- 19500419 沖縄タイムス 中共軍海南島上陸
- 19500419 南琉日日新聞 中共軍また海南島上陸
- 19500420 沖縄タイムス 中共軍大敗 海南島作戰
- 19500419 南琉日日新聞 上陸中共軍戰線を擴大
- 19500421 沖縄タイムス 大東島の製糖施設 軍係官が詳細調査
- 19500421 沖縄タイムス 海南島作戰 國府軍に不利
- 19500422 沖縄タイムス 國府軍後退 海南島作戰
- 19500423 沖縄タイムス 國府軍 今度は大勝利 勝った負けた

- 19500425 沖縄タイムス 海南島 國府軍に引揚命令／中共軍前進 海口無血占領
- 19500426 沖縄タイムス 中共の臺灣侵攻 年内は困難か
- 19500426 沖縄タイムス ハワイより第二次訪問團 きの上陸 先立つは涙…  
港にぎわす“歡迎陣”
- 19500427 沖縄タイムス 中共軍 舟山列島出撃
- 19500428 沖縄タイムス 英華外交 正式樹立せず
- 19500428 沖縄タイムス “母國は赤化した”と準備した救援品を沖縄へ ハワイの一中国人が
- 19500429 沖縄タイムス 臺灣攻略 年内に實現
- 19500429 南琉日日新聞 アジア反共連盟 ハカ國に招請狀發送
- 19500430 南琉日日新聞 中共代表認めるか リー事務總長 英首相と會談
- 19500503 沖縄タイムス 臺灣歸還者 所持金交換 軍も問合中
- 19500514 沖縄タイムス 最近の台灣事情 琉球人に好感『勝ってくるぞ』歌い  
國府軍に参加
- 19500516 沖縄タイムス 中共軍に日本人部隊
- 19500518 沖縄タイムス 臺灣攻略 數ヶ月中に國府軍大陸去る
- 19500519 沖縄タイムス 國府軍早くも亡命準備 六月に 臺灣攻略
- 19500519 南琉日日新聞 台灣攻撃來月か 國府日本へ亡命説
- 19500521 沖縄タイムス 中共軍 萬山群島上陸
- 19500524 南琉日日新聞 中共の國連加盟 西歐三國は現状維持
- 19500525 南琉日日新聞 台灣援助打切らず 近く四千万ドル支出
- 19500525 南琉日日新聞 安全保証（原文ママ）會議 中共を認めず
- 19500526 沖縄タイムス 中共軍 萬山群島上陸
- 19500530 沖縄タイムス 臺灣攻略 九月始頃か
- 19500530 南琉日日新聞 中共の臺灣攻撃 九月初旬開始か
- 19500602 沖縄タイムス 國府軍船團・大島へ避難
- 19500603 沖縄タイムス 臺灣で日本語新聞
- 19500604 沖縄タイムス 惡石島漂着の中國兵 近く臺灣へ 家族も同伴か
- 19500606 沖縄タイムス 臺灣攻略 明春まで延期か

- 19500606 沖縄タイムス 沖縄中継で 臺北・・・東京 定期航空路開く
- 19500608 南琉日日新聞 中國代表問題 先ず解決せよ リー總長強調
- 19500609 南琉日日新聞 中國代表問題 リー總長英へ覺書
- 19500610 沖縄タイムス 臺灣侵攻 中共軍決意
- 19500614 沖縄タイムス “中共を語らず” 悪石島漂着の國府軍沈少將ら
- 19500616 沖縄タイムス 土地改革問題が中心議題 中共の政協全國委
- 19500616 沖縄タイムス 海南島軍港に ソ連潜水艦入る
- 19500616 沖縄タイムス 台灣作戰 六、七月か
- 19500616 沖縄タイムス 國府軍前進
- 19500616 沖縄タイムス 米、比島の基地強（旧字）化
- 19500617 南琉日日新聞 國府空軍 大陸沿岸を爆撃
- 19500617 南琉日日新聞 中國代表問題 解決は見込薄
- 19500618 沖縄タイムス 臺灣問題も討議 米の安全保障再検討
- 19500618 沖縄タイムス 日本はアジアの政治的防衛線 米紙論説
- 19500618 沖縄タイムス 米比會談 比島側満足
- 19500618 沖縄タイムス 米國、日本、中國代表ら決る『親善と平和』へ四カ  
國の青年が首里で一ヵ月共同生活
- 19500620 沖縄タイムス 日本を重視せよ台灣に軍事援助を マ元帥所信を披  
れき
- 19500620 沖縄タイムス 米上院、臺灣援助提唱
- 19500620 沖縄タイムス 將總統 東京訪問説
- 19500620 沖縄タイムス 東京會談始る 沖縄視察は二十二日
- 19500621 沖縄タイムス 日本基地保持せよ ソ連の侵略に備え 米極東空軍首  
腦に進言
- 19500621 沖縄タイムス 米軍首腦との會談 國府駐日代表が企圖
- 19500621 沖縄タイムス 對日理事會参加を 中共側、正式に要求
- 19500621 南琉日日新聞 台灣防衛問題 國府代表 マ元帥と協議か
- 19500621 南琉日日新聞 國府代表追放 中共政府が要請
- 19500622 沖縄タイムス 臺灣問題を再検討 重大な處置をとるか
- 19500622 南琉日日新聞 台灣を守れ？ 根本的に政策變更か 三巨頭歸國後決

定せん

- 19500625 沖縄タイムス 米日中代表ら七名來月十日到着 国際キャンプ
- 19500625 沖縄タイムス 日本朝鮮でも 沖縄から二名宛参加
- 19500625 南琉日日新聞 台灣政策變更なし アチソン長官談
- 19500627 沖縄タイムス 北鮮、南鮮に宣戦布告 三八度線を越境し 全線に亘って進撃
- 19500627 南琉日日新聞 台灣へ武器援助 プ議長歡告
- 19500629 沖縄タイムス 米太平洋艦隊三分の二は極東出動か 第七艦隊、臺灣海峡で哨海
- 19500629 沖縄タイムス 國府軍 本土作戰停止
- 19500629 南琉日日新聞 韓國に武力支持 臺灣へ艦隊派遣 ト大統領聲明
- 19500629 南琉日日新聞 米第七艦隊台灣着 近海を嚴重哨戒
- 19500704 沖縄タイムス 國府軍派遣 米國は謝絶
- 19500704 沖縄タイムス 中共部隊の移動活發
- 19500706 沖縄タイムス 中共軍移動 香港を押える態勢
- 19500707 沖縄タイムス 中共の攻撃に斷乎交戦 國府言明
- 19500707 沖縄タイムス 中共、北鮮軍に参加
- 19500708 沖縄タイムス マ元帥代表 國府側と討議 臺灣防衛問題
- 19500708 沖縄タイムス 國連の決議不法 臺灣は斷乎解放 北京政府外相聲明
- 19500710 沖縄タイムス 中共軍 新軍事計畫 朝鮮問題不介入
- 19500710 沖縄タイムス 琉球代表十二名決る 場所は琉大に決定 国際キャンプ
- 19500711 沖縄タイムス 米と國府討議 臺灣基地問題
- 19500712 沖縄タイムス 米艦隊 金門島警戒
- 19500714 沖縄タイムス 毛主席訪ソ説
- 19500714 沖縄タイムス 石油の買入 中共香港で奔走
- 19500715 沖縄タイムス 中共軍 披山島に上陸
- 19500719 沖縄タイムス 九州臺灣水域に怪潜水艦現る
- 19500723 沖縄タイムス 中國問題が重要議題 九月に開く國連總會
- 19500724 沖縄タイムス 中共台灣攻略か 金門島を砲撃 近く上陸作戰開始 金



門島とは臺灣攻略の據點

- 19500724 沖繩タイムス 米國は不介入 國務・國防で情勢檢討
- 19500724 沖繩タイムス 國府 米艦隊の干涉要請
- 19500724 沖繩タイムス 中共議席問題 米の態度更に強化
- 19500725 沖繩タイムス 金門島砲撃 烈しくなる
- 19500725 沖繩タイムス 國府指令 上陸せば反撃せよ
- 19500725 沖繩タイムス ひびく“金門島攻撃”の報 極東情勢の悪化で“海人草”出漁船激減す
- 19500726 沖繩タイムス 臺灣攻略準備 中共軍が兵力集結
- 19500726 沖繩タイムス 米國 金門島に介入せず
- 19500729 沖繩タイムス 中國の議席 當分空席か
- 19500729 沖繩タイムス 安保理事会で 中共、國府評決争ひ
- 19500730 沖繩タイムス 國府軍事援助せず
- 19500801 沖繩タイムス マ元帥臺灣へ ト大統領指令で
- 19500801 沖繩タイムス 金門島の攻撃近し
- 19500802 沖繩タイムス 米と國府臺灣防衛協定成立
- 19500802 南琉日日新聞 拒否權行使せず 國府外交部言明
- 19500803 沖繩タイムス ソ連・初の黒星 國府代表追放の裁定に評決で破る
- 19500803 沖繩タイムス 日臺灣貿易 マ元帥検討
- 19500806 沖繩タイムス 臺灣に軍事援助 沖繩から戦斗機
- 19500806 沖繩タイムス 臺灣問題で中・ソ對立 中共、ソ連の要求拒否
- 19500807 沖繩タイムス ハリマン氏に臺灣援助を マ元帥、強調か
- 19500808 沖繩タイムス 米、航空隊の一部 臺灣派遣を決定
- 19500808 沖繩タイムス 舟艦を爆撃
- 19500811 沖繩タイムス 臺灣防衛を確信 帰米のハリマン大使語る
- 19500814 沖繩タイムス 臺灣を國連下に 英その他が米に勧告
- 19500815 沖繩タイムス 台灣からも“貿易”を要望
- 19500815 沖繩タイムス 國府の軍事攻勢 中止を英が米に要請
- 19500816 南琉日日新聞 國府の軍事攻勢 中止を要請
- 19500818 沖繩タイムス 米、國府に經濟援助

- 19500819 南琉日日新聞 日本物資輸入資金 國府に割あて
- 19500822 沖縄タイムス 臺灣の地位決定 米、人民投票提案か
- 19500822 沖縄タイムス 中共軍 南ホウ島占領
- 19500823 南琉日日新聞 東獨に對抗する武装警察隊を設置 バ高等辯務官談
- 19500826 南琉日日新聞 中共軍の西藏侵入 確報なし 米國務省言明
- 19500826 南琉日日新聞 朝鮮動乱終れば 第七艦隊は臺灣引揚げ
- 19500826 南琉日日新聞 台湾引揚者の預金証書回収支拂軍より認可 該當者政府へ手續を
- 19500827 南琉日日新聞 臺灣問題の検討には反対せぬ
- 19500901 南琉日日新聞 安保理事會台湾問題を取上ぐ
- 19500902 沖縄タイムス ト大統領言明 朝鮮動乱解決せば米海軍は臺灣撤退 臺灣の地位は講和後
- 19500902 沖縄タイムス 中共、西藏 平和交渉開始
- 19500903 沖縄タイムス 臺灣問題解決のため 對日講和を急げ ト大統領声明に反対論
- 19500903 沖縄タイムス 戦亂終了後も戦斗準備態勢 米国防總省言明
- 19500904 沖縄タイムス 臺灣の米軍 撤退要求案 ソ連代表がて提案
- 19500906 久部良沖さまよう中華船 米國監視船に逮捕
- 19500907 沖縄タイムス 日本と台湾 通商協定調印さる
- 19500907 沖縄タイムス 米艦隊 臺灣海峡で演習を開始
- 19500908 沖縄タイムス ア長官言明 臺灣の中立化飽迄堅持する
- 19500909 沖縄タイムス 臺灣問題と中共の態度 平和的解決希望 軍事行動を好まぬ
- 19500909 沖縄タイムス 中共代表の出席問題 安保會で審議決定
- 19500909 南琉日日新聞 中共の國連参加は總會で決定する リー（ママ）事務總長談
- 19500909 南琉日日新聞 密貿易に警告 海上保安制度強化
- 19500911 沖縄タイムス 臺灣對岸の中共軍九〇 満鮮國境に移動か
- 19500911 沖縄タイムス 中共要求の臺灣調査で 國府、拒否權行使か
- 19500911 沖縄タイムス 中共代表招請 米、反対せん グラス米代表語る

- 19500911 沖縄タイムス 朝鮮台湾問題は大战に発展せず 米政界に樂觀氣分
- 19500913 沖縄タイムス 中共代表の招請 安保理事会で拒否
- 19500913 沖縄タイムス 拒否權行使 國府代表言明 中共代表 招請せば
- 19500917 沖縄タイムス 中共参加問題で 國連總會 冒頭から紛糾か
- 19500917 沖縄タイムス [広告] 支那ウーロン茶入荷 高田茶舗
- 19500918 沖縄タイムス 英、中共と外交關係樹立か
- 19500919 沖縄タイムス 臺灣問題 安保か總會で處理
- 19500919 沖縄タイムス 國連参加を 中共再び要請
- 19500920 沖縄タイムス 中共の國連参加 インド正式提案
- 19500921 沖縄タイムス 國連總會開かる 中共参加否決
- 19500921 沖縄タイムス 中國問題は特別委に移す
- 19500921 南琉日日新聞 國連總會 中共代表問題でもみぬく第一日 特別委で  
審議
- 19500922 沖縄タイムス 中共軍北鮮侵入
- 19500922 沖縄タイムス 臺灣問題 米、國連に審議要求
- 19500923 沖縄タイムス 近づく對日講和 極東側と下交渉開始 一ヶ月後に結  
論生る 中國代表問題でもむか
- 19500923 沖縄タイムス 臺灣問題 總會議題に
- 19500925 沖縄タイムス 英、タイムス紙論説 對日講和より臺灣問題が緊急
- 19500926 沖縄タイムス 中共代表招請か 26日再開の安保會
- 19500926 沖縄タイムス 貿易事務所 台北に設置
- 19500929 沖縄タイムス 金持ちは外國へ避難 密航の中國人が語る香港
- 19500929 南琉日日新聞 中共代表の安保出席可能
- 19500930 沖縄タイムス 中共代表の出席提案否決
- 19500930 南琉日日新聞 安保、中共代表参加問題で大もめ
- 19501001 沖縄タイムス 臺灣問題討議に 中共招請可決 安保理事會で
- 19501003 沖縄タイムス 國府系分子を血の肅清に 朱德總司令布告
- 19501005 沖縄タイムス 陳國府行政委員長言明 臺灣の地位 中國に還すべし
- 19501005 沖縄タイムス 中共代表の出席要請傳達
- 19501005 沖縄タイムス 鮮魚を臺灣へ 琉水連が計畫中

- 19501005 沖縄タイムス [広告] 臺灣帰還者各位に告ぐ
- 19501006 沖縄タイムス 中共軍南下説 國府軍が打消す
- 19501007 沖縄タイムス ソ連と國府が一致して米案反対 國連總會運営委
- 19501008 沖縄タイムス 臺灣産米 稲の豊作
- 19501008 沖縄タイムス 臺灣引揚の所持金 支拂いを開始
- 19501009 沖縄タイムス 臺灣問題總會へ ソ連と國府反対表明
- 19501009 沖縄タイムス 本場の探偵映畫 警察部が各地で無料上映
- 19501009 沖縄タイムス 公安委の條件撤廢 スキューズ氏は賛成
- 19501010 沖縄タイムス 協定外の日台貿易制限
- 19501012 南琉日日新聞 ト大統領マ元帥の重大秘密會談 太平洋の某島で 台灣、日本占領等の諸問題が重点化
- 19501013 沖縄タイムス 國際愛破局 “妾はだまされた” 異郷の空に泣く若き中國女性
- 19501017 沖縄タイムス ト大統領言明か 條件附で中共を承認 對日講和は來年二月
- 19501017 沖縄タイムス 臺灣の中立化 マ元帥も同意か
- 19501017 南琉日日新聞 密貿易嚴に防止 マ長官も聲明 與那国は警備船で警戒
- 19501019 沖縄タイムス 根本元中將らと組む 日本の一青年 渡臺寸前名護で捕る 飛石傳いにきたが酒で失敗
- 19501020 沖縄タイムス 臺灣の完全中立 ト大統領マ元帥間に意見一致
- 19501021 沖縄タイムス 臺灣問題變化なし
- 19501022 南琉日日新聞 台灣問題に意見の相違なし ウェーク會談重要議題の一つ
- 19501023 沖縄タイムス 沖・臺貿易協議會
- 19501023 沖縄タイムス 中共加入問題で米英意見対立 政治委で論争
- 19501024 沖縄タイムス 中共加入問題 米も承認せん 中間選挙後に
- 19501025 沖縄タイムス 國連派遣の中共代表通告
- 19501027 沖縄タイムス 臺灣へ招請状 沖縄で貿易協議會
- 19501029 うるま新報 琉台貿易 沖縄で會議開催 軍が國府代表招く

- 19501031 南琉日日新聞 沖縄台湾貿易懇談會 來月五日開催予定
- 19501101 南琉日日新聞 日本－台湾間の貿易制限を全廢
- 19501103 南琉日日新聞 米、中共兩軍交戦
- 19501104 うるま新報 琉台貿易會議 沖縄での開催いよいよ實現 日本紙報道  
中国政府允氏を派遣
- 19501104 南琉日日新聞 中共大軍南下
- 19501104 南琉日日新聞 中共軍のチベット侵入 印度政府抗議
- 19501105 沖縄タイムス 琉臺貿易會議臺灣代表近く来る
- 19501109 うるま新報 琉台貿易協議會に備え 諸資料を蒐集
- 19501110 南琉日日新聞 台琉貿易 豫想外早目に解決か 近く台湾代表來島打  
合せ 貿易廳公聴會開き準備
- 19501110 南琉日日新聞 特別警察隊 三百名近く採用 待遇は現警察官同等 大  
隊長は警視級
- 19501114 うるま新報 貿易會議下打ち合わせ 輸出筆頭鮮魚か ほしい米は台  
湾で賣らぬ
- 19501114 南琉日日新聞 中國代表の資格問題で ソ連と大論戦
- 19501115 南琉日日新聞 中共代表の米國入國
- 19501115 沖縄タイムス 臺琉貿易きょう台湾側代表と協定
- 19501116 沖縄タイムス 臺琉貿易延期
- 19501116 沖縄タイムス 臺琉貿易 漁業界湧き立つ 遠洋漁團の編成など活潑  
化
- 19501118 うるま新報 200万ドル外貨豫算 貿易聽十二種目に割當 輸入の獨占  
を極力排除
- 19501119 南琉日日新聞 臺琉貿易會談 臺灣代表未着のため延期
- 19501121 うるま新報 琉台貿易米政府が許可
- 19501121 沖縄タイムス 沖臺貿易協定來月十二日
- 19501122 南琉日日新聞 待望の台琉貿易再開 アメリカ政府が許可 十二月  
十二日協議會開催
- 19501125 沖縄タイムス 大東島の燐鉍 臺灣から輸入希望
- 19501126 南琉日日新聞 安保出席の中共代表 ニューヨーク入り

- 19501129 沖縄タイムス 沖臺貿易協定 来月12日に桑江で
- 19501130 うるま新報 琉球人は忘恩の民に非ず 匿名の一流球人が抗議
- 19501130 南琉日日新聞 朝鮮台湾から撤退せよ 中共米を論難
- 19501201 沖縄タイムス 香港へ銅くず類を積出す 「密輸團」の一味挙る 馬  
天港根拠に・中国台湾人もグル
- 19501202 うるま新報 琉台協会設立 台湾歸還有志らが
- 19501202 南琉日日新聞 台湾歸還者が中心 琉台協會發足
- 19501205 うるま新報 台湾米が欲しい 伊集食料局長が近く私案提出
- 19501205 沖縄タイムス おいしくしかも安い 臺灣米の輸入を琉臺協定を前  
に要望
- 19501205 南琉日日新聞 三十八度線を境界に動亂解決の用意あり 米艦隊の  
台湾撤退等 中共、四項目案國連へ提出
- 19501206 南琉日日新聞 公聴會 待望の琉臺貿易再開 輸出は海産物が主
- 19501206 南琉日日新聞 琉臺貿易控え まず米の輸入を 食糧局いち早く具申
- 19501208 沖縄タイムス 琉臺貿易協定案成る 輸入七七八万ドル輸出八〇万  
ドル
- 19501209 うるま新報 琉台協會生る
- 19501209 うるま新報 何んとボロイ儲け 葉莢一本で麥粉一袋 国際密貿易の  
主犯自首
- 19501210 沖縄タイムス 琉臺貿易
- 19501210 南琉日日新聞 琉台協會誕生 會長富名腰尚友氏
- 19501213 うるま新報 琉台貿易會談 いよいよ15日ごろ開催 台湾代表きょう  
到着の豫定
- 19501213 南琉日日新聞 琉臺貿易會議 各總裁四知事代理の出席を軍が指示
- 19501214 うるま新報 琉台貿易會談17日より三日間
- 19501214 沖縄タイムス 臺灣代表 15日に来島か
- 19501214 南琉日日新聞 琉台貿易會議 台湾代表不参加で延期
- 19501215 うるま新報 台湾代表きのう來島
- 19501215 南琉日日新聞 琉台貿易會議 本日開催豫定 會議準備等終る
- 19501216 うるま新報 琉台貿易會談始まる 両国の復興に貢献ハインズ准将

台湾代表迎え祝辞贈る

- 19501216 うるま新報 台湾代表シエ氏挨拶 総合の親交深め有意義な協定を  
祈る
- 19501216 沖縄タイムス 貿易協定始まる 台湾代表きのう着
- 19501217 沖縄タイムス きのうから開かれた臺琉貿易協定 再開へ一歩踏出  
す 結果発表は近く軍から
- 19501219 うるま新報 社説 琉台貿易の意義と基調
- 19501220 うるま新報 沖縄側、有利に展開 琉台貿易會談、順調に進む
- 19501220 沖縄タイムス 琉臺會談順調にすすむ 内容は軍が発表
- 19501222 南琉日日新聞 琉台貿易會談續會中 結果発表頗る注目
- 19501223 うるま新報 鹽 干魚が欲しい 台湾代表懇談会で希望語る
- 19501223 沖縄タイムス 琉臺貿易 臺灣代表かこみ 民間側と意見を交換
- 19501226 南琉日日新聞 中共第三次戰準備？ 國內の全面的動員 國民政府筋  
の觀測
- 19501227 うるま新報 琉台貿易 會談きのう終わる
- 19501227 沖縄タイムス 台琉貿易協定29日に発表
- 19501229 南琉日日新聞 琉台貿易協定 本日正式公表 台灣代表空路歸島
- 19510315 うるま新報 琉台貿易いよいよ實現！協定への諸問題全て解決ルイ  
ス大佐談
- 19510317 うるま新報 琉台貿易協定 バ中佐発表 三月十五日より發効
- 19510317 うるま新報 琉台貿易の第一船 琉球丸近く出帆 魚 枕木積んで歸り  
は食料満載
- 19510317 沖縄タイムス 待望の琉臺貿易 すでに効力は發生 十九日までに委  
細公表
- 19510317 沖縄タイムス 琉球丸枕木積んで台湾へ
- 19510320 沖縄タイムス 臺灣向け枕木あす琉球丸で輸送
- 19510320 沖縄タイムス 台湾からお砂糖酒造原料として入荷
- 19510322 うるま新報 台湾ザラメ糖 酒原料。30万斤入荷
- 19510322 うるま新報 琉球丸台湾へ 枕木積んできょう船出
- 19510323 うるま新報 台湾米近く輸入か 價格について交渉中



- 19510323 沖縄タイムス 台湾糖發中更に酒連が
- 19510323 沖縄タイムス 台湾から「米」代表が商談に乗込む
- 19510324 うるま新報 琉台貿易の全貌バ中佐發表 民間・政府の二本建て輸出  
入額共に六八万七千弗
- 19510324 沖縄タイムス 琉臺貿易 輸出品は干魚輸出入共に68万ドル
- 19510328 うるま新報 台湾米輸入 一屯當り124弗で手打ちか
- 19510328 うるま新報 魚に三十万弗 琉台貿易、各品目割當額
- 19510329 沖縄タイムス 米民間輸入できる 五千トンを限度に許可 仕入地の  
制限なく直ぐ受付開始 臺灣米一万トンは「ガ資金」で
- 19510330 うるま新報 琉球丸基隆着
- 19510331 沖縄タイムス 臺灣産ザラメ糖工場に26袋ずつ 四月末白糖など83  
万斤
- 19510415 沖縄タイムス 50万ドルの臺灣糖輸入農家収入脅かす関係筋が対策  
に腐心
- 19510415 沖縄タイムス 琉球丸恙く歸る 初航海で一万二千ドル稼ぐ
- 19510420 沖縄タイムス 臺灣糖輸入を調節 平良知事談 “密輸取締まりを強化  
する”
- 19510423 沖縄タイムス 臺灣米五千トン入荷は六月初頃
- 19510427 沖縄タイムス 臺灣糖 輸入の時期が問題
- 19510427 沖縄タイムス 琉臺貿易会社発足
- 19510428 沖縄タイムス 臺灣から「赤ザラ」琉臺貿易第一陣
- 19540613 沖縄タイムス 台湾とのバーター取引纏る評価に台湾から技術者来  
島
- 19540616 琉球新報夕刊 琉球代表も参加アジア 反共會議開かる
- 19540617 琉球新報朝刊 記者席「反共會議に琉球代表？」
- 19540619 琉球新報朝刊 屑鉄業者近く組合結成狙いは輸出の一元化
- 19540620 琉球新報朝刊 中古トラックのバーター台湾業者との予備契約成立
- 19541014 琉球新報 アジア反共會議 琉球に反共連盟を 李韓国大統領 琉球へ  
の協力呼びかく
- 19541014 琉球新報 中國國民黨から 新垣弓太郎翁へ感謝状

- 19541015 琉球新報 アジア反共會議へ 必要なら参加 副主席談
- 19541016 琉球新報 反共會議への琉球代表派遣 蔡氏、軍民政府へ要請
- 19541016 琉球新報 沖縄側の勝訴か 台湾で係争中の金城漁團
- 19541016 琉球新報 米人同様優遇 三百の在台沖縄人
- 19541019 琉球新報 大陸進攻は一場の夢 中田氏台湾の近情を語る
- 19541030 琉球新報 沖縄で反共連盟結成 今週末準備委員会
- 19560617 沖縄タイムス 宮古・八重山へ旅客機初飛行
- 19560808 琉球新報 蓬莱米はいかが? 豊作の台湾から賣込み
- 19560811 琉球新報 水稻作工場に台湾の磯氏招聘
- 19560826 琉球新報 日華両国親善を強化 台湾訪問團の七海氏立寄る
- 19560827 琉球新報 “沖縄から台湾訪問団” 実現あつ旋に蔡氏來島
- 19560829 琉球新報 台湾視察希望者は多い 現地側の招聘計画に富原氏談
- 19561013 琉球新報 台風見舞物資どっさり 台湾の米篤志機関と中國政府から
- 19561023 琉球新報 記者席「蒋介石への禮は口頭で」
- 19561023 琉球新報夕刊 台湾へ視察団 けさ出発 蔣総統の誕生祝にも列席
- 19561029 琉球新報夕刊 台湾經濟視察団昨夜帰える 琉台貿易促進に 台湾の官民はすごい熱意
- 19561029 沖縄タイムス 落ち着いてきた台湾 琉台貿易に大きな関心 視察團一行昨夜帰る
- 19561031 琉球新報 新南群島出漁再会か 台湾側が全面的に保証
- 19570604 琉球新報夕刊 舞いもどった金十丸 化粧直して台湾航路へ
- 19570605 沖縄タイムス 金十丸就航祝賀
- 19570607 琉球新報 台湾引揚げ者を結成
- 19570608 琉球新報夕刊 政府有備品に 台湾からの水牛十頭
- 19570611 琉球新報夕刊 金十丸張水港に入港
- 19570612 沖縄タイムス 石垣でレセプション 金十丸基隆へ
- 19570613 琉球新報夕刊 金十丸基隆に着く
- 19570613 琉球新報夕刊 台湾の甘蔗作をみて (1)
- 19570614 琉球新報夕刊 台湾の甘蔗作をみて (2)
- 19570615 琉球新報夕刊 台湾の甘蔗作をみて (3)

- 19570616 琉球新報夕刊 台湾の甘蔗作をみて（完）
- 19570616 琉球新報夕刊 経済提携、防共話合う 國賓待遇の台湾訪問團
- 19570617 沖縄タイムス 臺灣へ着いた副主席一行（※谷正綱との写真あり）
- 19570618 沖縄タイムス 経済交流を盛んに 歓迎攻めの訪台親善視察團
- 19570618 沖縄タイムス 災害援助に感謝 蔣総統、にこやかに握手
- 19570618 琉球新報夕刊 台湾航路 茶やパインを搞んで 金十丸初航海の帰途  
へ
- 19570619 沖縄タイムス 見本市で物産紹介 視察団、台湾側と協議会
- 19570620 沖縄タイムス 台湾見たまま（1）
- 19570620 琉球新報夕刊 琉台貿易促進委設ける 経済座談会で台湾側が提唱
- 19570621 沖縄タイムス 台湾見たまま（2）
- 19570622 沖縄タイムス 台湾見たまま（3）
- 19570624 沖縄タイムス 台湾見たまま（4）
- 19570625 沖縄タイムス 台湾見たまま（5）
- 19570626 沖縄タイムス 台湾見たまま（6）
- 19570627 沖縄タイムス 今晚の話題 中国的胃袋
- 19571008 沖縄タイムス 貿易面など話合う 台湾貿易視察團がメッセージ
- 19571009 沖縄タイムス 台湾貿易視察團 きのうち中南部回る
- 19571010 沖縄タイムス 経済交流さかんに 台湾貿易視察團囲み懇談
- 19571010 沖縄タイムス夕刊 台湾貿易視察團懇談会…取引品目も検討 屑鉄  
輸出は有望 茶・パイン苗とりたい
- 19571111 沖縄タイムス夕刊 中共脱出者台湾へ
- 19571112 沖縄タイムス 台湾物産展示会
- 19571113 沖縄タイムス 台湾船遭難
- 19571205 沖縄タイムス 出品五千点余り あすから台湾物産展示会
- 19571206 沖縄タイムス きょうから中國見本市
- 19571207 沖縄タイムス すばらしい復興中國見本市に見る 貿易収支既に黒  
字 農業鉱業など生産急増 米國の経済援助奏功
- 19571214 沖縄タイムス 台琉親善の象棋手合せ
- 19571215 沖縄タイムス 中国見本市から盗む

- 19571215 沖縄タイムスタ刊 琉台貿易の拡大へ 何視察団長弁務官に申入れ  
屑鉄－米のバーターなど
- 19571216 沖縄タイムス 中国商品展示会きょうまで延期
- 19580306 沖縄タイムス 明暗こもごもの輸出産業
- 19580306 沖縄タイムス 台湾赤糖の影響 四月頃か
- 19580306 沖縄タイムス 台湾ドルや酒密輸
- 19580308 沖縄タイムス 台湾から樹種届く
- 19580624 沖縄タイムス 台湾沖で救わる 與那国の遭難クリ舟
- 19580624 沖縄タイムス 八重山沖でのスクリュ－負傷事件 病に泣く台湾人  
に異郷の友情 幼な馴染もかけつけ
- 19580918 沖縄タイムス 蓬莱米一万トン買付
- 19580918 琉球新報 バーター貿易を 副主席ら19日に渡台
- 19580918 琉球新報 台湾にナイキ基地置く
- 19580919 琉球新報 大田副主席らきょう台湾へ
- 19580919 琉球新報 大田副主席一行きのう台湾へ発つ
- 19580928 沖縄タイムス 大田副主席らきょう帰任
- 19580928 琉球新報 台湾米一万トン輸入 バーター貿易を交渉 大田副主席ら  
歸る
- 19581001 沖縄タイムス 米軍が肩代り 金門島への補給作戦
- 19581001 沖縄タイムス 台湾問題など緊急決議を採択 英労働党
- 19581001 沖縄タイムス 台湾から遭難船の手配
- 19581001 沖縄タイムスタ刊 ダレス長官、台湾海峡問題を語る 情勢は安定の  
方向へ
- 19581001 沖縄タイムスタ刊 台湾問題 武力解決は許されず 米中会談の成功  
願う
- 19581002 沖縄タイムス 米、台湾問題で政策轉換へ 國連持出し遠のく 国連  
外交筋観測
- 19581002 沖縄タイムス 見てきた戦時下の台湾 一切は軍事のため 低物價政  
策で暮し易い
- 19581002 沖縄タイムスタ刊 ア大統領 当面の諸問題を語る 金門馬祖に代表

力いらぬ 中共の国連加入考えず

- 19581002 沖縄タイムスタ刊 “戦争はイヤだ”と脱走 那覇で白雲丸にもぐり  
こみ密航 國府兵、長崎でつかまる
- 19581003 沖縄タイムス 米・國府の対立表面化す
- 19581003 沖縄タイムス 金門島問題で國府当局語る 兵力削減に 台湾防衛に  
不可欠の防壁
- 19581003 沖縄タイムス 島産米を圧迫しないよう 台湾米買付けで社大党が  
要望
- 19581003 沖縄タイムス 具体化する民間航空事業 当分はCAT機をチャー  
ター
- 19581003 沖縄タイムス 異郷に病む台湾人 一命をとりとめ近く帰国
- 19581004 沖縄タイムス インドネシア 台湾問題でA・A会議の招集を要求
- 19581004 沖縄タイムスタ刊 バンドン会議の精神生かせ 台湾問題の解決に
- 19581005 沖縄タイムス 台湾問題で米軟化 ソ連核実験を再開
- 19581006 沖縄タイムスタ刊 写真トピック 金門情勢
- 19581006 沖縄タイムスタ刊 きょうから七日間 中共軍、砲撃を禁止 内戦解  
決のため中・國会談を
- 19581006 沖縄タイムスタ刊 台湾海峡問題はあくまでも内政
- 19581007 沖縄タイムス 米・中共提案に注目 金門島など砲撃停止 停戦恒久  
化を期待 米中会談一週間以内に
- 19581007 沖縄タイムス 國際的宣傳だ 國府は中共と同席せず
- 19581007 沖縄タイムス ほう提案に疑いと不信
- 19581007 沖縄タイムスタ刊 米政府公式声明 中共の停戦声明歓迎 補給船護  
送の必要なし 國府は中共声明を無視 引続き米艦の護送要請
- 19581008 沖縄タイムス 左足切断の頼さん 黄船長と台湾へ帰る
- 19581009 沖縄タイムス 国連総会 一般討論全部終わる インド代表 米軍の台  
湾撤退要求
- 19581009 沖縄タイムス CATが11日に招待飛行
- 19581009 沖縄タイムスタ刊 砲撃下の金門島を見る 補給、必要量の20% 一  
日の大半は避難所暮らし

- 19581010 沖縄タイムス 中共、停戦延長か
- 19581011 沖縄タイムス 沖縄生産品PXが買上げ 陶器など18品目、グアム・台湾へ
- 19581012 沖縄タイムス 中共は砲撃を再開か 國府、中共との接触説も
- 19581012 沖縄タイムス 国際展望 中共の金門島など砲撃停止 きょうで期限切れ 國連、軍縮問題の討議へ
- 19581013 沖縄タイムス 金門島住民の表情
- 19581013 沖縄タイムス 忘れられぬ異郷の情 奇禍の台湾人頼さん帰る
- 19581013 沖縄タイムスタ刊 中共の金門島砲撃停止 さらに二週間延長
- 19581013 沖縄タイムスタ刊 平鳳作「中國写真展をみて」
- 19581014 沖縄タイムス 台湾海峡の危機すでに終る 米、第七艦隊を削減か 中共金門攻撃再開せねば
- 19581015 沖縄タイムス ダレス記者会見 一時的停戦は信頼せず 國府軍の撤退不可能
- 19581016 沖縄タイムス 國府軍の削減強制せず アイク記者会見詳報
- 19581017 沖縄タイムス 蔣総統、國府軍削減提起せず
- 19581017 沖縄タイムス 外商 (5) プラザハウス 商売上手の華商が経営
- 19581017 沖縄タイムス 台湾の経済事情
- 19581018 沖縄タイムスタ刊 米國務省発表 ダ長官、近く台湾訪問 蔣國府総統と会談
- 19581019 沖縄タイムス 國府へ引渡されよう 國府高官筋が言明 台湾持込みの「ナイキ」
- 19581019 沖縄タイムス 中共の脅威去らず 蔣総統が記者会見
- 19581019 沖縄タイムスタ刊 ダレス、三國外相と会見 台湾問題で意見交換
- 19581020 沖縄タイムス 蔣・ダレス会談に米の観測
- 19581020 沖縄タイムス ダレス・ロイド会談終る 討議は台湾問題など全般的
- 19581020 沖縄タイムス 写真トピック 中共の砲撃停止
- 19581020 沖縄タイムス 台湾旅行者百七十人申込む
- 19581021 沖縄タイムス 台湾海峡問題 米政府に微妙なアヤ 限界ある譲歩を考慮

- 19581021 沖縄タイムス 中共国防相 砲撃開始を命令 福建前線軍に
- 19581021 沖縄タイムス 外商(7) パン・オーション 主に建築資材を扱う 台湾・香港が活躍の本拠
- 19581021 沖縄タイムス 砲撃停止命令の無効を宣言 台湾海峡また熱戦
- 19581021 沖縄タイムス 国府も報復砲撃
- 19581021 沖縄タイムス 米、船団護衛再開せず 軍事的必要ない限り
- 19581022 沖縄タイムス ダレス 蒋介石 会談始まる 試練にたった米外交
- 19581022 沖縄タイムス ダレス声明 相互信頼の強化を希望 新しい合意を意図せず
- 19581022 沖縄タイムス 金門、再度砲撃下に
- 19581022 沖縄タイムス 国府の内部分裂をねらうか 中共の砲撃再開
- 19581022 沖縄タイムス 米・蔣を非難 人民日報
- 19581022 沖縄タイムスタ刊 ダ長官 蔣総統に提案か 金門地域の非軍事化
- 19581022 沖縄タイムスタ刊 解説・中共の砲撃再開と 米・蔣会談
- 19581022 沖縄タイムスタ刊 心理作戦など討議
- 19581022 沖縄タイムスタ刊 寸評寸描 台湾海峡の風雲、またまたあやしくなる。「基地」をいだいて、こっちもうっかり気がゆるせない
- 19581023 沖縄タイムスタ刊 米“二つの中国”の線打出す ダレス・蒋介石会談予想以上に難航 蔣総統 大陸反攻の決意不変
- 19581023 沖縄タイムスタ刊 口國務次官補 台北に向かう
- 19581023 沖縄タイムスタ刊 ダレス 兵力の削減提案 蔣総統 憤慨して受けつけず
- 19581023 沖縄タイムスタ刊 金門島きのうも砲撃さる
- 19581024 沖縄タイムス 揺れ動く米の対中国政策
- 19581024 沖縄タイムスタ刊 中共軍の砲撃止む ダ長官の去るとともに
- 19581024 沖縄タイムスタ刊 米、対中共攻撃を許さず
- 19581025 沖縄タイムスタ刊 ダ長官、ア大統領に報告 蔣総統との会談など台湾問題
- 19581025 沖縄タイムスタ刊 時評 ダレス・蔣会談の結論 食い違い政策 妥協の産物 中共への影響は皆無



- 19581026 沖縄タイムス アイク、ダレス報告に満足『国府軍削減』におわす
- 19581026 沖縄タイムス 在台湾米軍発表 台湾本土攻撃せばナイキ 應戦の準備
- 19581026 沖縄タイムスタ刊 国際展望 ダレスの一方的勝利 蒋介石総統との密約あれば 軍縮討議大詰めへ
- 19581027 沖縄タイムス 台湾問題 米国の今後の外交作戦 停戦の無期限確保へ 中共にも「武力放棄」の圧力
- 19581027 沖縄タイムス 威かく戦術の失敗認む 米権威筋 中共声明きめつける
- 19581027 沖縄タイムス 中共、金門を砲撃
- 19581027 沖縄タイムス 金門・馬祖島の帰属 国連による住民投票を
- 19581029 沖縄タイムス 国府軍 近代化計画を作成中 米台湾防衛司令官語る
- 19581027 沖縄タイムス 中共、砲撃を停止 きのう偶数日
- 19581031 沖縄タイムス 主食米、来月から買付け折衝 台湾からも買付け
- 19581101 沖縄タイムス 日本がわれわれを守ってくれ 国府の某高官語る
- 19581101 沖縄タイムスタ刊 国府は中国本土で反乱援助の権利あり
- 19581103 沖縄タイムス りう中將を新任 金門島新司令官
- 19581103 沖縄タイムス 台湾観光団きょう出発
- 19581104 沖縄タイムスタ刊 台湾観光團けさ発つ 氣がるにお隣へ
- 19581105 沖縄タイムス 外商 (17) ケンザー・デパートメント・ストア 中国人雇って洋服仕立
- 19581106 沖縄タイムス 外商 (18) ショーンズ・ペーカリー 賣上げ月に四千ドル 趙支配人 沖縄人企業、まず資本の統合を
- 19581107 沖縄タイムスタ刊 台湾からの遭難漁夫 連絡なく港で“上陸待った”
- 19581110 沖縄タイムス 観光団の見た台湾 街にあふれる戦時色 見習うべき 米国援助の利用
- 19581113 沖縄タイムス 茶のみ話 新村長佳「台湾観光旅行」
- 19581117 沖縄タイムス 蔣総統 反共同盟結成に賛成 “アジア条約は米の責任で”

- 19581119 沖縄タイムス 台湾米買つけ 下旬に正式契約
- 19581120 沖縄タイムス 金門島の“モグリ”新聞
- 19581202 琉球新報 台湾師範大顧教授語る 職業教育の拡充は経済発展への投資
- 19581207 琉球新報 台湾米8000トン買付調印 価格はトン当たり147ドル
- 19581209 琉球新報 正月前に台湾米 キロ当たり18セント～20セント
- 19581211 琉球新報 台湾米 町村割当量決る
- 19590315 琉球新報 ここでも台湾産に押される さき細りの海人草 プラタス出漁もさらに半減
- 19590316 琉球新報 パイン問題大詰めへ 台湾産を100万ドルに圧縮 きょうから日台貿易協定
- 19590316 琉球新報 すばらしい工業教育 教育関係者 台湾視察から帰る
- 195903? 琉球新報 パインの現状と将来 実を結ぶか振興法 まだ解決せぬ青果代未払い
- 19590327 琉球新報夕刊 農村復興委員会 J・C・R・R 見習いたい 台湾で復興に効果
- 19590420 沖縄タイムス 台湾から農業視察に 中国農村復興聯合委の一行来島
- 19590421 沖縄タイムス 台湾から貿易視察團来島 経済・文化の交流を促進
- 19590421 沖縄タイムスタ刊 経済交流を盛んに 中国貿易視察團記者会見
- 19590422 沖縄タイムスタ刊 今晚の話題 台湾に目を向けよ
- 19590423 琉球新報 パイン問題は共存共栄で 中国貿易視察團が記者会見
- 19590424 琉球新報 中国から初の観光団 映画女優の葛蘭さんも来島
- 19590425 沖縄タイムスタ刊 台湾の農業視察団、琉大と懇談
- 19590508 沖縄タイムス 台湾もの輸入禁止 重要産業法で帛省 立法院経工院
- 19590523 沖縄タイムス 台湾に研修教員派遣 ア財団が援助 九月実現の見通し
- 19590525 沖縄タイムス 漁場荒らされる与那国 台湾船の越境で悲鳴 国際紛争おそれ警察は低姿勢
- 19590530 沖縄タイムス 台湾政府と折衝始める バ民政官が現地調査 漁船の

領海侵犯 大田副主席、副民政官と会談

- 19590531 沖縄タイムスタ刊 今年中に10台輸出 沖縄の廃車・バス台湾へ
- 19590602 沖縄タイムス 台湾から農業調査団
- 19590602 沖縄タイムス 近く正式に契約結ぶ 台湾派遣教員11人決まる
- 19590604 沖縄タイムス 売れない韓国・台湾米 赤字も予想・・・値下げしなければ 危ぶまれる49万ドルの差益
- 19590605 沖縄タイムス 琉・台漁民が対立 台湾船、遠慮なく沖縄の漁場荒らす 領海侵犯に強い不満
- 19590609 沖縄タイムスタ刊 八重山に天然痘？ 不法入域の台湾漁夫が
- 19590611 沖縄タイムス 台湾へ教員派遣 アジア財団が三万ドル援助
- 19590615 沖縄タイムスタ刊 台湾漁船に実力行使 石垣署が近海から追放
- 19590619 沖縄タイムスタ刊 島産米に押される 売れゆきにぶい台湾・韓国米
- 19590625 沖縄タイムス 町長さんこんにちは (52) 離島航路の改善を 復活したい台湾との交易
- 19590627 沖縄タイムス 台湾農業技術園きのう記者会見 まず技術の向上 造林・畜産に本腰を
- 19590627 沖縄タイムス 渡台教員 9月に出発 きんの文教局で打合せ
- 19590627 沖縄タイムス 與那国島 今度米を密輸 台湾米の不法行為続く
- 19590629 沖縄タイムス ドル欲しさに密輸？ 與那国に台湾漁船が出没
- 19590701 琉球新報 原料、台湾から密輸 問題かもす宮古上布 経済局事実調査
- 19590710 沖縄タイムス 琉台貿易を促進 台湾商品展示館常設
- 19590710 沖縄タイムス 台湾ヤシの苗中部各市村へ
- 19590716 沖縄タイムスタ刊 台湾商品展18日開く 特別貿易調査団も来島
- 19590718 沖縄タイムス フリーゾーンに関心 台湾から経済視察團
- 19590718 沖縄タイムスタ刊 台湾貿易センター けさ昭和会館で開設式
- 19590905 沖縄タイムス “自由中国の顔” とる 毎日新聞撮影隊立寄る
- 19590927 琉球新報 パインの報復か 台湾ウルシの対策急ぐ
- 19590927 琉球新報 琉球人の外交保護権 “米国駐外処理規則” を準用 台湾
- 19590928 琉球新報 台湾ウルシ輸入要請 伊江演習場立入り制限

- 19590929 沖縄タイムス ア財団が一萬三千ドル 台湾への派遣教員内定
- 19590930 琉球新報 漂流中の台湾漁夫 第十一幸洋丸が二人救助
- 19590930 琉球新報夕刊 餌不足に悩む鰹漁 八重山が台湾との取引考える

## 【1960年代】

- 19600121 沖縄タイムス 米穀協会 台湾貿易代表を招きパーティー
- 19600202 沖縄タイムス 信義貿易の申請を許可 自由貿易地域内での企業
- 19600203 沖縄タイムス 台湾パインの輸入 五月までに消化を要請
- 19600203 沖縄タイムスタ刊 松岡氏台湾視察から帰る“輸出産業に重点”
- 19600204 沖縄タイムス 台湾に視察団派遣 職業教育教師二十三人を
- 19600205 沖縄タイムス 南國八重山はもう水もぬるみはじめ、農夫は一期米の植え付け準備に忙しい
- 19600207 沖縄タイムス 依然手がかりなし 豊漁丸 台湾沖へ流れたか
- 19600212 沖縄タイムス 沖縄と台湾の女性 山崎幸子さんの台湾訪問記 美しい素肌の台湾娘
- 19600218 沖縄タイムス 農家手帳 台湾輸入種モミの特性
- 19600302 沖縄タイムスタ刊 台湾から愛の苗木 ヤシ・柳など一万六千本
- 19600303 沖縄タイムス 台湾海峡で交戦 中共砲艦 國府輸送船を撃沈
- 19600303 沖縄タイムス 独語 天野鉄夫「うらやましい台湾の造林」
- 19600309 沖縄タイムス 産業と結ぶ教育を 文教局台湾研修教員と懇談
- 19600309 沖縄タイムス 中共籍の密入国者 林さん四か月ぶりに釈放
- 19600315 沖縄タイムスタ刊 ニュース物語 週刊現代の記事 誤った見出しを打つ 仲本沖青協副会長が抗議
- 19600323 沖縄タイムス 台湾にひでり“買いだめは死刑”の布告
- 19600323 沖縄タイムス 農家手帳 台湾から導入された水稻品種 (1)
- 19600323 沖縄タイムス 四技師、台湾へ パイン栽培技術研修で
- 19600324 沖縄タイムス 信義貿易が民政府へ陳情 パイン加工の再考促す 自由貿易地域での操業
- 19600414 沖縄タイムス 訪台農業技術員人選を発表－民政府
- 19600414 沖縄タイムス 西表あれこれ (2) パナキラー

- 19600420 沖縄タイムス 台湾師範大の四教授来島
- 19600424 沖縄タイムスタ刊 国府軍演芸班のショー 五日間ズケラン体育館で
- 19600513 沖縄タイムス 台湾船が密輸 バイン罐千四百個押さえる
- 19600521 沖縄タイムスタ刊 ア大統領台湾訪問
- 19600602 沖縄タイムス 台湾の国際的地位 植田博士が琉大で講演
- 19600604 沖縄タイムス ガールスカウト 台湾でキャンプ開く 沖縄からも七人参加
- 19600606 沖縄タイムスタ刊 台湾海峡緊張強まる 中共沿岸に戦車部隊増強
- 19600614 沖縄タイムス 教育手帳 台湾と間違えられた沖縄
- 19600618 沖縄タイムス アイク訪台に示威砲撃
- 19600618 沖縄タイムス 中共アイク歓迎に金門党を砲撃 ア大統領 台北に着く
- 19600619 沖縄タイムス 北京政権中国を代表せず ア大統領、国府歓迎大会で演説
- 19600619 沖縄タイムス ニセ20ドルを95枚も 密航の台湾漁船、与那国で押える
- 19600620 沖縄タイムス 中共の挑戦に対処 アイク・蔣共同声明
- 19600620 沖縄タイムス きのうちも砲撃 中共、金門島を
- 19600620 沖縄タイムスタ刊 金門・馬祖放棄せず 蒋国府総統談
- 19600621 沖縄タイムス ニセ札のルート浮ぶ 密航中国人を徹底調査
- 19600622 沖縄タイムス 粗雑なニセ20ドル 与那国で押収された偽造紙幣
- 19600624 沖縄タイムス ニセドルの陳を送検 出所ルートはまだ不明
- 19600624 沖縄タイムスタ刊 国境の島のニセドル
- 19600627 沖縄タイムスタ刊 まるで戦時の緊張 比嘉氏、台湾訪問から帰る
- 19600630 沖縄タイムス ガールスカウト台湾から帰る 乗馬や射撃も練習
- 19600703 沖縄タイムス はるばる台湾から告訴
- 19600706 沖縄タイムス 夏休み利用で台湾へ 中央高校が修学旅行に
- 19600708 沖縄タイムス 教育に目的がない
- 19600716 沖縄タイムス 季節風
- 19600717 沖縄タイムス ガールスカウト第18団 比嘉三千子

- 19600719 沖縄タイムス 鄭孟し「沖縄の産業と職業教育－資格主義と進学主義を捨てよ」
- 19600722 沖縄タイムス 沖縄関係の遺骨 台湾にまだ約五十柱も
- 19600722 沖縄タイムスタ刊 ニセドルの台湾人 きょうから八重山で裁判
- 19600723 沖縄タイムスタ刊 セ札の陳公判 検察側懲役三年を求刑
- 19600724 沖縄タイムス 私のスポーツ歴 (9) 松川久仁男
- 19600724 沖縄タイムスタ刊 二人でお茶をへの投書 台湾のファン・楊さん
- 19600729 沖縄タイムス 台湾に学術センター 琉球大学も参加の意向
- 19600809 沖縄タイムス 座談会 (上) 難航する指導委員派遣
- 19600810 沖縄タイムス 本社記者座談会 (中) 指導委員受け入れの問題点 つむじをまげた父親 効果のない台湾への派遣
- 19600812 沖縄タイムス 国府スパイ死刑
- 19600825 沖縄タイムス 正式に台湾と呼称 IOC 総会
- 19600904 沖縄タイムスタ刊 国府、キューバと断交
- 19600917 沖縄タイムスタ刊 台湾のラジオファン “二人でお茶を” と「歌のプレゼント」に人気
- 19610701 沖縄タイムス 社説「第五回タイムス賞について」
- 19610701 沖縄タイムス タイムス賞 きょう贈呈式
- 19610702 沖縄タイムス 沖縄タイムス賞贈呈式 輝く功績たたえ 五氏に心から拍手
- 19610708 沖縄タイムス 海外小話「旧日本軍の宝探し」
- 19610708 沖縄タイムスタ刊 沖縄タイムス賞 受賞者の横顔 寥見福氏 八重山パインの恩人 信条 “何でもやればできる”
- 19620101 八重山毎日新聞 座談会 台湾パイン産業を見る 曲り角に立つ琉球パイン 先進地はこうだ
- 19620110 八重山毎日新聞 台湾のマラリア視察 大嶺保健所長ら近く出発
- 19620128 八重山毎日新聞 比島の国府大使もてる
- 19620221 八重山毎日新聞 台沖丸石垣港へ きょう盛大なレセプション 沖縄汽船の新造貨物船
- 19620301 琉球新報 ニセ味の素を押収 那覇コザの商店手入れ 中身は香港、

台湾のもの

- 19620303 八重山毎日新聞 平和丸が操業続行を陳情 国府が突然声明
- 19620309 八重山毎日新聞 台湾セメントの広告
- 19620311 八重山毎日新聞 沖縄を返すな 自由陣営の防壁 国府権威筋談
- 19620317 八重山毎日新聞 沖縄ツーリストによる台湾視察観光団募集の広告
- 19620317 八重山毎日新聞 前田琉銀支店長 台湾視察へ
- 19620415 八重山毎日新聞 徹底した共同検集 不良整（ママ）品工場には警告  
前田琉銀支店長の見た台湾のパイン産業
- 19620426 八重山毎日新聞 台湾農研の専門技術家来島
- 19620510 八重山毎日新聞 林業の指導に 林文鎮氏来島
- 19620518 八重山毎日新聞 混農林業を語る 来島の林文鎮氏
- 19620527 八重山毎日新聞 東地方庁長台湾視察に立つ
- 19620601 八重山毎日新聞 台湾人多数が帰化希望 子供の将来が不安
- 19620617 八重山毎日新聞 第一号石垣丸 八重山のできる外國航路の許可
- 19620619 八重山毎日新聞 台湾観光団立つ（寥見福が団長だった）
- 19620627 八重山毎日新聞 ラスクヒューム台湾問題重視（ラスクヒューム英  
外相）
- 19620629 八重山毎日新聞 台湾海峡また騒然 国府の大陸進攻の不安 米、中  
国に警告 攻撃すれば防衛
- 19620629 八重山毎日新聞 本気な“大陸反攻” 米“二つの中國”からむ 思い  
つめた国府
- 19620630 八重山毎日新聞 台湾海峡に重大関心 万一の場合防衛に立つ ケネ  
ディ大統領声明 国府の大陸反攻に同意しない 米政策変らず
- 19620704 八重山毎日新聞 村沢澄蔵「金門島の価値」
- 19620710 八重山毎日新聞 どうやら静まりそう 台湾海峡“ナゾの危機”
- 19620712 八重山毎日新聞 崎山農改所長 台湾農業を視察
- 19620731 八重山毎日新聞 コレラにおびえる不安の与那国 台湾漁船の寄港  
ひんばん
- 19620802 八重山毎日新聞 台湾漁船もいる台風で緊急避難船 八重山署警本  
の指示を仰ぐ



- 19620803 八重山毎日新聞 コレラ九州上陸 台湾から入港したみかげ丸で本土各地防疫におおわらわ
- 19620805 八重山毎日新聞 空のまま飛ぶきのうのCAT
- 19620815 八重山毎日新聞 台湾バナナの廃棄処分に不満
- 19620816 八重山毎日新聞 台湾から不法入域者取り調べ
- 19620818 八重山毎日新聞 石垣丸に二回目の外国航路許可
- 19621014 八重山毎日新聞 反共放棄呼びかけ 米、国府に嚴重警告 蔣総統 双重（ママ）節 国民に演説
- 19621021 八重山毎日新聞 国府の國連追放策 ソ連 中国代表権提案か ことしも見送りの公算大
- 19621109 八重山毎日新聞 輸入を解除 台湾バナナ
- 19621216 八重山毎日新聞 中華料理専門店 蓬莱閣の新聞広告（スッポン料理を提供）
- 19620411 沖縄タイムス 住民の帰属住民投票で 国府が主張
- 19620630 沖縄タイムス 台湾貿易センター代表に徐経満氏着任
- 19630801 沖縄タイムス 産業・貿易面も視察 大田主席一行 きょう台湾訪問へ
- 19630803 沖縄タイムス 琉球の発展に協力 大田主席 蔣総統と会見
- 19630803 沖縄タイムスタ刊 台琉貿易の拡大 今後に市場調査で検討
- 19630804 沖縄タイムスタ刊 製糖工場など視察 台湾の大田主席 各地で歓迎を受ける
- 19630805 沖縄タイムスタ刊 今晚の話題 大田さんと台湾
- 19630806 沖縄タイムス 経済提携に効果 大田主席 きょう台湾から帰る
- 19630807 沖縄タイムス “沖縄は日本の領土” 主席 台湾で記者団と会見
- 19630807 沖縄タイムス 記者のメモ 主席、台湾をべたほめ
- 19631124 八重山毎日新聞 台湾女工さん来島 パイン輸出組合の招きで
- 19631126 沖縄タイムス 沖縄卓球 初の外国遠征記（上）
- 19631127 沖縄タイムス 沖縄卓球 初の外国遠征記（中）
- 19631128 沖縄タイムス 沖縄卓球 初の外国遠征記（下）
- 19631130 沖縄タイムス 台湾からの青果焼却 害虫発生で輸入禁止品

- 19631212 八重山毎日新聞 台湾で日本製カレンダー没収
- 19631227 八重山毎日新聞 国府外交部否定 駐日大使引揚げ
- 19640101 琉球新報 駐日代理大使ら召還 国府
- 19640104 琉球新報 国府、二大使館員も召還
- 19640104 琉球新報 対日通商断交しない 国府当局者が言明
- 19640110 琉球新報 在日大使館を閉鎖か 国府、周氏帰国に報復
- 19640110 琉球新報 波紋呼ぶ周鴻慶氏帰国 国府外務省が非難声明
- 19640111 琉球新報 周鴻慶氏送還 対日非難声明にとどまる 決めて欠く国府  
池田内閣の中国接近警戒
- 19640112 琉球新報 中国ムード盛り上げ 中華民国の商品展覧会 会場の準備  
進む
- 19640112 琉球新報 黄氏ら先発九氏来沖 台湾商連の琉球見本市に
- 19640113 琉球新報 ミス・チャイナら着く 台湾見本市の代表者48人
- 19640114 琉球新報 周氏送還 台北の空気平静へ 冷却期間置き対日関係調整
- 19640115 琉球新報 対応措置はとらず 大平外相、国府関係で報告
- 19640115 琉球新報 あすから台湾見本市 徐団長ら使節団来沖
- 19640116 沖縄タイムスタ刊 中国見本市幕ひらく 豪華なムードに人気
- 19640116 琉球新報 中華民国友好使節団が来沖 主席ら空港に出迎え 中琉の  
経済合作を強化
- 19640116 琉球新報 きょうから台湾見本市 139商社が出品、即売も
- 19640116 琉球新報 声 蔡しょう「中国使節団の来沖を歓迎」
- 19640116 琉球新報夕刊 台湾見本市 参観者でにぎわう 大田主席らテーブル  
カット
- 19640117 沖縄タイムス 糖業技術者を派遣 革台湾省副総理が語る
- 19640117 沖縄タイムス 金融貿易問題で懇談 中国友好訪問団が業界と
- 19640117 琉球新報 中琉貿易促進で懇談 砂糖など五部門にわかれ
- 19640119 琉球新報 中華民国に使節団帰国 “中琉貿易を拡大促進”
- 19640119 琉球新報 林見本市団長も 現金百ドルと商品贈る
- 19640119 琉球新報 台湾南部で激震 死者三十五人
- 19640119 琉球新報 台湾と沖縄の貿易 ラジオ沖縄 後10時10分「報道特別番

組座談会」

- 19640120 琉球新報 台湾見本市 連日、参観者で盛会 即売も食料品に人気
- 19640120 琉球新報 台湾の地震、死者八十七人
- 19640121 沖縄タイムス 輸出協力など中心に パイン組合 中国側と話し合い
- 19640121 沖縄タイムスタ刊 中国記者団と交歓
- 19640122 琉球新報 米で台湾独立の動き ケナン氏、五月に日本へ
- 19640122 八重山毎日新聞 琉台の提携深める パイン組合、中国側と話し合い
- 19640125 沖縄タイムス 公聴「台湾見本市で感じたこと」
- 19640126 琉球新報 引き合い約80件も 中華民国商品展 きょうまで開く
- 19640127 琉球新報 中国見本市終わる 引き合い件数は80件
- 19640129 琉球新報 中華民国国民党 仏に真意説明を要求 スポークスマンが語る
- 19640129 琉球新報 国府、仏に抗議覚え書き 最大の非友好的行為
- 19640129 琉球新報 国府、結局対仏断交か 中国大使のバリ到着後に
- 19640130 琉球新報 オズボーン氏に国府軍から勲章
- 19640204 八重山毎日新聞 国府関係の改善へ 元首相吉田氏を派遣 国府内でも台頭 池田首相、外相答弁に好感
- 19640206 八重山毎日新聞 米と話しあいたい 台湾紛争で 周恩来首相帰国へ
- 19640206 八重山毎日新聞 中国領土説を主張 中国・國府の双方とも 微妙な台湾の法的地位
- 19640212 八重山毎日新聞 蔣政権と断交の兆 仏中國の要求に屈するか
- 19640213 八重山毎日新聞 外交上の利益疑問 国府の対仏断交 米紙評論
- 19640213 八重山毎日新聞 24日国府を訪問 元首相吉田氏、個人の資格で
- 19640221 八重山毎日新聞 国府は「交戦団体」成田社党々書記長 “一つの中國”で見解
- 19640222 八重山毎日新聞 吉田氏を台湾派遣 日台の誤解一掃に
- 19640225 八重山毎日新聞 日本の動きに敏感 国府、吉田氏に期待
- 19640225 八重山毎日新聞 村沢澄蔵「パイン生産者は台湾を見よ」
- 19640226 八重山毎日新聞 国府の台湾支配黙認? 中共系紙のの社説が示唆 米の影響排除を条件に

- 19640612 八重山毎日新聞 台湾漁船がワンサ 最近の与那國海域 八重山署 警  
本へ連絡
- 19640617 八重山毎日新聞 村沢澄蔵「見習うべき台湾の貿易」
- 19640701 沖縄タイムス さよなら琉球航空 AA 航空きょうから運航
- 19640702 沖縄タイムス 日華関係の好転図る 大平外相あす国府訪問
- 19640702 沖縄タイムス 読者から「台湾の独立と沖縄」
- 19640703 琉球新報 琉台貿易を促進 駐沖縄代表所長に段氏
- 19640703 琉球新報 大平外相、台湾を訪問 那覇空港に立ち寄る 日米協力と  
理解で 復帰の最善の道 記者会見
- 19640704 沖縄タイムス 段氏着任 国府、沖縄に初の政府代表
- 19640705 琉球新報 大平・蔣会談開く 中共の本質に認識を 蔣総統 経済繁栄  
は政治が基礎
- 19640707 沖縄タイムス 経済ロビー 樹齢百年のヤシ
- 19640707 沖縄タイムス 経済局 首里に熱帯植物園 きょう現場を調査
- 19640707 沖縄タイムス 短波ニュース 台湾に原子力発電所
- 19640707 沖縄タイムス 短波ニュース 国府、チェコ両大使が信任状
- 19640707 琉球新報 高圧線に触れ即死 伊江村出身の漁師 台湾で船舶修理作  
業中
- 19640707 琉球新報 はと笛
- 19640708 沖縄タイムス 経済ロビー 「台湾観光」
- 19640708 沖縄タイムス “対日関係” 正常化へ 国府 首相、外相が記者会見
- 19640709 沖縄タイムス エア・アメリカの許可は不当 まず航空券解決
- 19640710 沖縄タイムスタ刊 琉台貿易の拡大を 徐柏園氏立ち寄る
- 19640813 沖縄タイムス アジアの“禍根” 中共に 国府の張群秘書長来日
- 19640813 沖縄タイムス 陳哲雄「“うるま”の語源について」
- 19640820 沖縄タイムス 定期協議を提案 張群秘書長が記者会見
- 19640820 沖縄タイムス 中国家具の広告
- 19640821 沖縄タイムス 茶のみ話 比嘉政章「台湾の空手」
- 19640822 沖縄タイムス 経済ロビー 外交手腕
- 19640824 沖縄タイムス 陳哲雄「うるまは“オス”である」

- 19640909 沖縄タイムス 互惠貿易を推進 仲本次長台湾視察から帰る
- 19640914 沖縄タイムス 台湾と見返り貿易 生豚輸入、ラードを輸出
- 19640917 沖縄タイムス 琉球航空先島便近く運行開始 中華航空公司と契約  
c-46型機をチャーター
- 19640917 沖縄タイムス 台湾へ研修
- 19640920 沖縄タイムス 新南島風土記 与那国 (4) さい果ての島 密輸景気影  
もなし 台湾放送に親しむのんびりした国境線
- 19640921 沖縄タイムス 中琉貿易覚え書き 貿易課が草案
- 19640930 沖縄タイムス 中琉互惠貿易を促進 委員会を設置して検討
- 19640930 沖縄タイムスタ刊 藤田南連所長台湾視察へ
- 19641002 琉球新報 欠航続くエア・アメリカ 利用者から苦情 建運局が調査  
に乗り出す 守られない運航計画
- 19641005 琉球新報 欠航続くエア・アメリカ 安全性の確保進達へ
- 19641010 琉球新報 十日に祝賀会 中華民国記念日 各界代表招く
- 19641011 琉球新報 中華民国の建国祝賀会にぎわう
- 19641013 琉球新報 外資導入の申請へ 中華航空公司が提携で
- 19641014 琉球新報 台湾との貿易を促進 沖縄特産、売り込む 民政府も積極  
的意欲みせる
- 19641014 琉球新報 パン・オーシャン労働組合を結成
- 19641015 琉球新報 中華航空が外資申請 那覇空港社と提携 先島への運航計  
画
- 19641020 琉球新報 沖縄から輸入検討 魚肉製ハムソーセージ 台湾省から連  
絡
- 19641022 琉球新報夕刊 エア・アメリカ定期便を回復
- 19641023 琉球新報 待ちぼうけの乗客 エア・アメリカ航空 先島便また欠航
- 19641023 琉球新報 客足ガタ落ち 欠航がちのエア・アメリカ
- 19641024 琉球新報 社説「欠航がちの先島航空便」
- 19641024 琉球新報夕刊 台湾選手 中共に亡命 警視庁に保護求める 中国への  
船便手配の用意も 在日華僑総会の話
- 19641025 琉球新報夕刊 馬氏の中国行き確認 国府大使館員とも面会

- 19641026 琉球新報 一瞬ヒヤリ AA機 故障? 宮古上空から引き返す 初就航  
のスーパー C-46
- 19641027 琉球新報 サービスに努力 A・A 航空会社社長語る
- 19641027 琉球新報 エア・アメリカまた引返す 不満をぶちまける乗客
- 19641028 琉球新報夕刊 亡命の馬選手離日 大阪港から中国へ
- 19660620 琉球新報 台湾バナナ 一万ドル分を廃棄処分 那覇港荷受けできず  
腐れ
- 19660620 琉球新報 大村警視正ら台湾へ出発
- 19660626 琉球新報 台湾人15人を逮捕 八重山署 与那国島へ不法入域
- 19660722 沖縄タイムス 台湾からお手伝い 女子従業員が三百人 八重山 パイ  
ン工場の手不足で
- 19660728 沖縄タイムス 台湾観光事業 視察から帰る 通産局の友利係長
- 19660830 沖縄タイムス 最盛期むかえたパイン工場 名護 連日フル操業へ 旧  
盆休み女工確保に躍起 台湾からも女工さん
- 19660831 琉球新報 高信国府行政院僑務委員長来沖
- 19660901 沖縄タイムス 人事往来
- 19660901 琉球新報「太陽は俺のものだ」のロケ隊来沖
- 19660902 沖縄タイムス 茶のみ話 喜友名嗣正「沖縄時間」
- 19660905 沖縄タイムス 蔣総統暗殺はナンセンス
- 19660907 沖縄タイムス 米軍輸送機墜落
- 19660914 沖縄タイムス 人事往来
- 19660917 沖縄タイムス 西條監督ら台湾へ 主演のつごうで日程変更
- 19660917 琉球新報 連日、渡航希望者がつめかける 台湾入国の査証発行
- 19660917 琉球新報 台湾ロケへ出発 中日琉合作映画の一行
- 19661001 琉球新報 [広告] 中国芸能まつり
- 19661002 琉球新報 [広告] 中国芸能まつり
- 19661003 沖縄タイムス [広告] 中国芸能まつり
- 19661004 琉球新報夕刊 台湾のパイン女子従業員八重山へ
- 19661004 琉球新報夕刊 [広告] 中国芸能まつり
- 19661005 沖縄タイムス [広告] 中国まつり (ママ)

- 19661005 琉球新報「太陽は俺のものだ」ロケ隊来沖
- 19661006 沖縄タイムス〔広告〕中国芸能まつり
- 19661006 琉球新報〔広告〕中国芸能まつり
- 19661011 沖縄タイムス 中華民国双十節 大陸反攻を決議
- 19661013 沖縄タイムス 闇のテラマイシン出回る 台湾から密輸入 首謀の女性捕らわる
- 19661029 沖縄タイムス 喜友名氏アジア反共会議にたつ
- 19661030 沖縄タイムス 台湾経済視察団きょう出発 沖縄タイムス社招待
- 19661031 沖縄タイムス 台湾経済の視察へ 沖縄タイムス社招待 十一氏きのうたつ
- 19661211 沖縄タイムス 台湾の遺族わかる 沖縄で事故死した陳冠勲さん座波さん20年間も供養
- 19661211 琉球新報 異国人の墓を守って20年 中華民国から感謝状 首里の座波さん 事故死の兵葬る 台湾の新聞、大きく報道
- 19661212 沖縄タイムス 同胞の手で発掘 交通事故で死んだ陳さんの遺骨20年ぶりに古里・台湾へ
- 19670214 琉球新報 台湾貿易センター襲わる
- 19670215 琉球新報 台湾貿易センター襲撃事件
- 19670403 琉球新報〔広告〕太陽は俺のものだ（4日ロードショウとあるが実際は8日から）
- 19670403 琉球新報夕刊〔広告〕太陽は俺のものだ
- 19670405 琉球新報夕刊〔広告〕太陽は俺のものだ
- 19670406 沖縄タイムス〔広告〕太陽は俺のものだ
- 19670406 沖縄タイムス〔広告〕太陽は俺のものだ
- 19670407 琉球新報〔広告〕太陽は俺のものだ
- 19670407 琉球新報夕刊〔広告〕太陽は俺のものだ
- 19670408 沖縄タイムス〔広告〕太陽は俺のものだ
- 19670408 沖縄タイムスタ刊〔広告〕太陽は俺のものだ
- 19670408 琉球新報〔広告〕太陽は俺のものだ
- 19670410 琉球新報夕刊 踊るダンサー密輸〈1〉



- 19670411 沖縄タイムス 関係者に善処訴える 台湾貿易業者の不良輸入
- 19670411 琉球新報 [広告] 太陽は俺のものだ
- 19670411 琉球新報 台湾貿易センター襲撃事件 九人に無期停学 琉大参加学生に厳重処分
- 19670411 琉球新報夕刊 踊るダンサー密輸 〈2〉
- 19670412 琉球新報 [広告] 太陽は俺のものだ
- 19670413 沖縄タイムスタ刊 基隆市警察局長が警察本部を視察
- 19670413 琉球新報 女工送り出し中止を 台湾パッカー公会 自国関係官庁に要請
- 19670413 琉球新報夕刊 踊るダンサー密輸 〈3〉
- 19670414 琉球新報夕刊 踊るダンサー密輸 〈4〉
- 19670415 沖縄タイムス 台湾省の林祚炬氏来島 沖縄のパイン産業視察で
- 19670415 沖縄タイムスタ刊 [広告] 台湾観光団募集
- 19670415 琉球新報夕刊 踊るダンサー密輸 〈5〉
- 19670425 沖縄タイムス パイン産業 台湾沖縄の提携を 林パイン公司副総裁 記者会見 競争さけ強調で 共通課題 本土市場の開拓
- 19670427 沖縄タイムス 近づくゴールデンウィーク 台湾にも二百人が出発

## 【1970年代】

- 19710322 琉球新報夕刊 琉球華商総会を結成
- 19711001 琉球新報夕刊 陳哲雄「沖縄史の発掘」を読んで
- 19720408 沖縄タイムス 浮き草の民 在留台湾人の悩み (1) 日本人になりたい
- 19720411 沖縄タイムス 浮き草の民 在留台湾人の悩み (2) 台湾人の法的地位
- 19720412 沖縄タイムス 浮き草の民 在留台湾人の悩み (3) 義務と権利
- 19720413 沖縄タイムス 浮き草の民 在留台湾人の悩み (4) 台湾出身者の業績
- 19720415 沖縄タイムス 浮き草の民 在留台湾人の悩み (5) 許さんの暮らし
- 19720418 沖縄タイムス 浮き草の民 在留台湾人の悩み (6) 識者の意見

- 19720419 沖縄タイムス 浮き草の民 在留台湾人の悩み (7) 庶民の交流
- 19720420 沖縄タイムス 浮き草の民 在留台湾人の悩み (8) 政府の見解
- 19720924 琉球新報 首相あす訪中 一気に国交正常化
- 19720924 琉球新報 “沖縄米価”のゆくえ 〈4〉どうなる消費者米価 値上げ幅が焦点 特別措置法の盲点つく
- 19720925 琉球新報 田中首相きょう訪中 さっそく首脳会談 順当なら28日にも声明
- 19720925 琉球新報 日中共同声明迎える国府 対日全関係ただちに停止か 日中共同声明迎える国府
- 19720925 琉球新報 国府海軍が示威の演習 台湾海峡で
- 19720925 琉球新報夕刊 台北から死体空輸 羽田着のキャセイ機
- 19720926 琉球新報夕刊 冷たい敵意で迎える 台湾の反応
- 19720927 琉球新報 国府海軍 高知の漁船捕獲 船長を連行 新南群島付近で
- 19720927 琉球新報 台湾で“五ない運動”強まる反日論調
- 19720928 沖縄タイムスタ刊 日・中復交さまざまな反響 身を切られる思い 華商国籍の複雑さに泣く
- 19720928 沖縄タイムスタ刊 “くるべき時がきた” 在八重山台湾人 冷静に受けとめる
- 19720928 琉球新報 台湾と国交を断絶すれば…労務者導入ピンチ パイン業界など不安な表情
- 19720928 琉球新報 明・暗…中国・台湾 駐在員引き揚げも あわただしい台湾の商社 住民感情は険悪化
- 19720929 琉球新報 きょう国府と断交 政府、駐日大使を招き通告
- 19720929 琉球新報 予想される共同声明要旨 戦争状態の終結を確認「日台条約廃棄」は触れず
- 19720929 琉球新報 深刻な台湾系在沖縄華商 共同声明に重大な関心 “国府の指示待ち”
- 19720929 琉球新報 台湾からも国慶節参加
- 19720929 琉球新報夕刊 国府首相、対日報復にふれず
- 19720929 琉球新報夕刊 日中国交に対する町の反響 ある台湾出身沖縄在住

知識人「台湾人に自主自決の機会を」

- 19720929 琉球新報夕刊 “沖縄にマイナス” 駐琉台湾代表 怒りと不満
- 19720929 琉球新報夕刊 八重山 台湾の出方に神経とがらす
- 19720929 琉球新報夕刊 中部の華商「国交」にさまざま 独立、真剣に考えよ
- 19720929 琉球新報夕刊 雨にぬれる青天白日旗 ひっそり国府大使館
- 19720930 琉球新報 法務省 台湾籍でも不利益処遇せず 在日中国人で方針
- 19720930 琉球新報 各団体の反響 台湾との断絶はマイナスに 宮里辰彦琉球  
商工会議所副会頭
- 19720930 琉球新報 各団体の反響 日本政府の態度にショック 孫仁瑞・中華  
民国中央信託局駐琉球代表弁公所代表
- 19720930 琉球新報夕刊 私服警官が厳戒 不安押さえる台湾の日本人
- 19720930 琉球新報夕刊 日航などの台北路線は維持 運輸省が決める
- 19721001 琉球新報 日本大使館は平常通り開館 台湾 中国承認を非難 商工会  
日本からの不買を強調
- 19721001 琉球新報 平成に営業活動 台湾進出企業 最悪事態回避に喜ぶ
- 19721002 琉球新報 声「心が痛む台湾との断交」(那覇市・男性)
- 19721003 琉球新報 日本の中の中国〈2〉 在日中国人 行く末案ずる台湾派 全  
国で5万余人 料理店主から王選手まで 深刻な就職の差別
- 19721003 琉球新報夕刊 “米価” の据え置きを 知事、園田政務次官に要請 台  
湾労働者導入も
- 19721008 琉球新報 在台邦人に保護措置
- 19721008 琉球新報 日中経済新時代〈6〉 日台関係 “逆政経” 方式で対処 台湾  
に脱日本化の動き
- 19721010 琉球新報 揺らぐ台湾 (上) 綱渡りの日台関係 苦悩深い対日依存脱  
却
- 19721011 琉球新報 日本と中国激しく非難 “台湾派” の国会議員ら出席 澎大  
使、双十国慶大会で
- 19721011 琉球新報 揺らぐ台湾 (下) 将来握る中国の出方 経済中心主義で対  
処か